

フォトムービー作成ソフト

みんなのフォトムービー10 ガイドブック



Jungle

Contents

はじめに

「みんなのフォトムービー」でできること.....	3
「みんなのフォトムービー」を起動する.....	5
追加素材集の活用方法.....	6
編集モードについて.....	8
ビデオ編集のはじめの設定.....	9
スマートフォン用の動画作成方法.....	11

Chapter 1 エクスプレス編集モード 基本編

1-1 ビデオカメラから素材を取り込む.....	12
1-2 写真素材を取り込む.....	15
1-3 スマートフォンから素材を取込む.....	17
1-4 素材を並べる.....	20
1-5 不要な素材を削除する.....	22
1-6 表示時間を調整する.....	23
1-7 縦横比の異なる画像を調整する.....	25
1-8 画面切り替えの効果を加える.....	27
1-9 文字を入力する.....	29
1-10 BGMを追加する.....	31
1-11 複数の素材を重ねる.....	33
1-12 エフェクトを追加する（エクスプレス編集）.....	35
1-13 プロジェクトファイルを保存する.....	37

Chapter 2 拡張編集モード 実践編

2-1 オープニングムービーを作ろう！	39
2-2 エンディングムービーを作ろう！	43

Chapter 3 機能解説編

3-1 テキストの書式・属性の詳細を設定する	47
3-2 テキストエフェクトをカスタマイズする	50
3-3 ビデオファイルを作成する	53
3-4 YouTube へのアップロード	57
3-5 DVD を作成する	59
3-6 音楽のリッピング (Nero MediaHome)	64
3-7 収録素材一覧	66

- ・ 本ソフトウェアの一部はマイクロソフト Windows メディア技術を利用しています。Copyright © 1999-2002. Microsoft Corporation. All Rights Reserved.
- ・ 本ソフトウェアには、次の会社が保有するイメージコードの一部を使用しています：Pegasus Software LLC, Tampa, FL。
- ・ AVCHD および AVCHD のロゴはパナソニック株式会社およびソニー株式会社の商標です。
- ・ Android および YouTube は、Google, Inc. の商標です。
- ・ iPhone は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- ・ iOS は、米国およびその他の国における Cisco 社の商標または登録商標であり、Apple Inc. ライセンスに基づき使用されています。
- ・ iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- ・ Internet Explorer, Microsoft, Windows, Windows 7, Windows 8, Windows 10 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ・ その他の製品およびブランド名は個々の所有者の商標であり、所有者による提携、後援、または推奨を暗示するものではありません。
- ・ 画面はすべて開発中のものです。製品の仕様、パッケージ、価格などは予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。
- ・ 本書の内容はすべて著作権法上の保護を受けています。著作者及び株式会社ジャングルの許諾を得ずに、本書の一部あるいは全体を無断で複写・複製・転写・転載・翻訳・デジタルデータ化することはできません。

はじめに

「みんなのフォトムービー」でできること

「みんなのフォトムービー」は、「Nero Video」というソフトで構成されています。Nero シリーズは世界的にも知名度の高いマルチメディアソフトで、その中でもビデオ編集に関する機能がまとめられているのが「Nero Video」です。「みんなのフォトムービー」では、ドラッグ&ドロップなどのマウス操作だけでビデオ編集ができるので、初心者の方でも簡単にビデオ編集ができます。

「みんなのフォトムービー」のメイン画面



「ここにファイルをドラッグ」エリア

追加素材集やお手持ちの編集対象にしたいファイルを直接ドラッグ&ドロップすることで、ソフトに読み込ませることができます。



「キャプチャとインポート」エリア

このエリアでは、ビデオカメラやデジカメなどから映像や写真をパソコンに取り込むことができます。

- **AVCHD からインポート**
AVCHD プロジェクト (DVD、メモ리카ード、ハードディスク) に保存されているビデオをインポートします。
- **ファイルインポート**
ハードディスクやUSBメモリーなどに保存されているビデオファイルを取り込みます。
- **カメラまたはビデオからのキャプチャ**
カメラやその他の対応デバイスから保存されているビデオをパソコンに取り込みます。
- **ディスクに直接録画**
カメラやその他の対応デバイスから直接ディスクに書き込み保存します。

キャプチャとインポート

AVCHDからインポート
ファイルインポート
カメラまたはテレビからのキャプチャ
ディスクに直接録画

「編集とエクスポート」エリア

- **縦向きビデオの編集**
スマートフォン向けの縦向きのビデオを作成します。
- **スライドショーの作成**
写真でスライドショーを作成します。
- **ムービー作成 (エクスプレス編集)**
初心者の方でもできるように操作が簡単で、「拡張編集」モードよりシンプルな内容になっています。ビデオ編集の経験が少ないユーザーや、簡単にシンプルなビデオを作成したいユーザーにお勧めです。
- **ムービー作成 (拡張編集)**
複数のビデオおよびオーディオトラックと、さまざまな編集オプションを利用できます。このモードは、キーフレームの使用など、さらに手の込んだビデオに適しています。
- **Nero Video プロジェクトを開く**
編集途中の状態を保存したプロジェクトファイルを読み込み、再度編集を加えることができます。
- **Windows Live ムービーメーカープロジェクトを開く**
WindowsLive ムービーメーカーを使って作成した *.wlmv プロジェクトをインポートできます。これらのプロジェクトは Nero Video で作成したその他のプロジェクトと同様に処理され、必要に応じて、編集、保存、エクスポート、書き込みが可能です。

編集とエクスポート

縦向きビデオの編集
スライドショーの作成
ムービー作成 (エクスプレス編集)
ムービー作成 (拡張編集)
Nero Videoプロジェクトを開く
Windows Liveムービーメーカープロジェクトを開く

「追加コンテンツのダウンロード」エリア

エフェクト、テーマ、メニュー、サンプルクリップなどダウンロード提供されている追加コンテンツを取得できます。



「最近使用したプロジェクト」エリア

プロジェクトファイルを作成、編集した場合、このエリアに最近使用したプロジェクトファイルの履歴が表示されます。履歴をクリックすると、すぐに再編集することができます。

最近使用したプロジェクト

はじめてのお花見.mv
C:\Users\Windows_10\Desktop

はじめに

「みんなのフォトムービー」を起動する

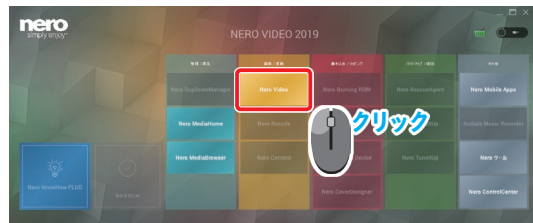
1 ショートカットアイコンをクリックする

デスクトップに作成された「Nero」ショートカットアイコンをダブルクリックします。



2 「Nero Video」を選択する

Nero シリーズの起動選択画面が表示されますので、「Nero Video」をクリックします。



3 メイン画面が表示される



はじめに

追加素材集の活用方法

「みんなのフォトムービー」では、さまざまなフォトムービー制作の追加素材集があります。これらのコンテンツを活用することで、フォトムービー作成に広がりが出ますのでお試しください。

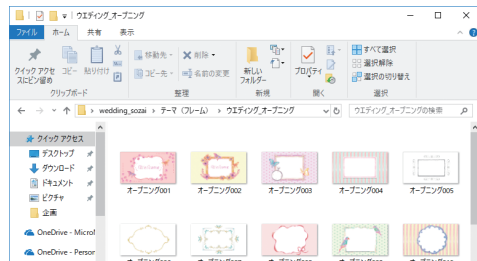
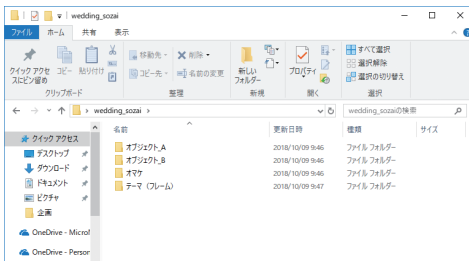
1 「Nero Video」を起動する

「Nero Video」を起動し、メイン画面を表示します。



2 コンテンツの入ったフォルダーからお好みの素材を探す

「みんなのフォトムービー」同梱のディスクには、ビデオ作成に使用できる様々な素材が保存されています。素材の保存されているフォルダーをクリックすると、分類ごとに素材が保存されたフォルダーが表示されます。それぞれのフォルダーをクリックすると、エクスプローラー上で内容を確認できます。ここでは例として、Wedding 版同梱ディスクに保存されている「wedding_sozai」フォルダーから、「テーマ(フレーム)」 - 「ウエディング_オープニング」をクリックします。



3 ファイルをメイン画面にドラッグ&ドロップする

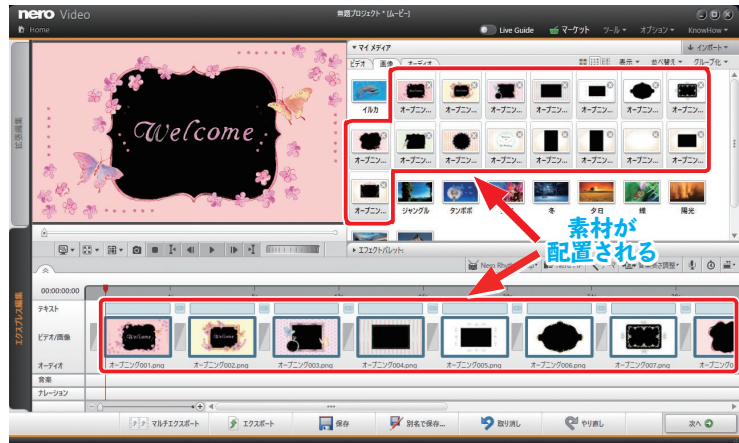
フォルダー内にあるファイルをすべて選択（「Control」キーと、「A」キーを押す）してドラッグし、「ここにファイルをドラッグ」エリアにドロップします。ここでは例として、「ウエディング_オープニング」フォルダー内にある「オープニング 001」から「オープニング 016」までの16ファイルをドラッグ&ドロップします。



「プロジェクトの選択」ウィンドウが表示されますので、ここでは「1-Click Video Story」（エクスプレス編集）をクリックします。

4 素材の認識

読み込み完了後、すべての素材が「マイメディア」と「タイムライン」に配置されます。タイムライン上のファイルで素材の内容を確認してみましょう。



重要

取り込んだ素材の色が黒のみの場合、「画像エリア」では表示できません。それらの素材を使用する際は、フォルダーから直接タイムラインにドラッグ&ドロップしての使用をおすすめします。

重要

タイムライン上に配置されたファイルはタイムライン上で削除しても「マイメディア」の認識は残ります。「1-13 プロジェクトファイルを保存する」をおこなうと、「マイメディア」での登録を残すことができます。

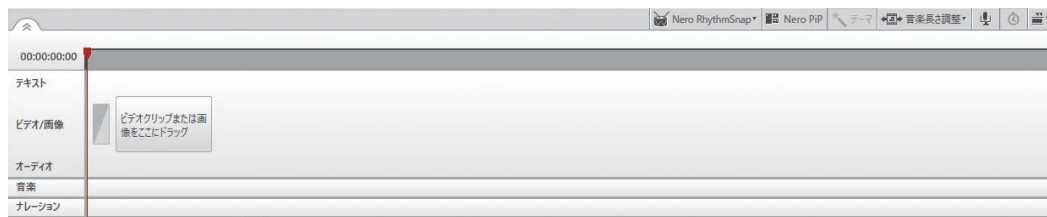
はじめに

編集モードについて

「みんなのフォトムービー」では、「エクスプレス編集」モードと「拡張編集」モードの2つのビデオ編集モードを利用できます。
モードごとに、プロジェクトの作成および編集方法が異なります。

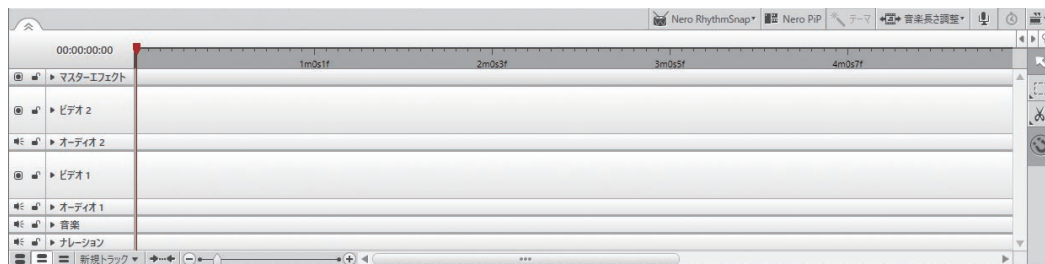
「エクスプレス編集」モード

「エクスプレス編集」モードは操作が簡単で、「拡張編集」モードよりシンプルな内容になっています。このモードでは、コンテンツエリアに1つのメインビデオ/画像トラックのみが表示され、その他に「音楽」および「ナレーション」の2つのオーディオトラックが表示されます。「エクスプレス編集」モードは、まだビデオ編集の経験が少ないユーザーや、簡単にシンプルなプロジェクトを作成したいユーザーにお勧めです。



「拡張編集」モード

「拡張編集」モードでは、通常、複数のビデオおよびオーディオトラックと、さまざまな編集オプションを利用できます。このモードは、キーフレームの使用など、さらに手の込んだプロジェクトに適しています。



「エクスプレス編集」モードと「拡張編集」モードは、簡単に切り替えることができます。例えば、「エクスプレス編集」モードで開始しても、プロジェクトを編集するためにさらにトラックや機能が必要な場合は、「拡張編集」モードに切り替えることができます。

はじめに

ビデオ編集のはじめの設定

ここでは、ビデオ編集を開始する際に、設定するビデオファイルについて解説を加えながら操作説明します。

1 メイン画面からビデオ編集を開始する

ここでは、例として「編集とエクスポート」エリアから「ムービー作成(エクスプレス編集)」をクリックします。

編集とエクスポート

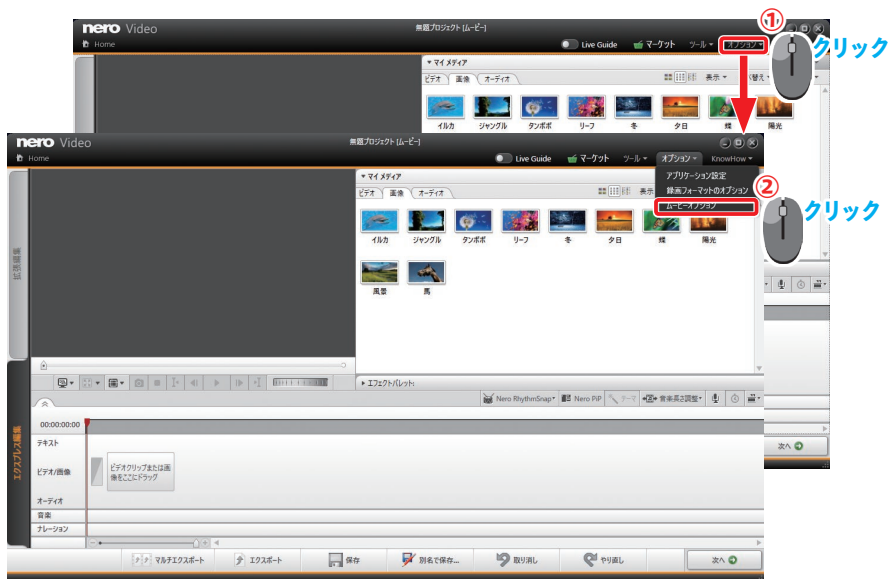
縦向きビデオの編集
スライドショーの作成
ムービー作成 (エクスプレス編集)
ムービー作成 (拡張編集)
Nero Videoプロジェクトを開く
Windows Liveムービーメーカープロジェクトを開く

クリック

2 「オプション」 から「ムービーオプション」 を選択する

「エクスプレス編集」モードのビデオ編集画面が表示されます。

右上にある「オプション」ボタンをクリックし、「ムービーオプション」をクリックします。



3 「ムービーオプション」ウィンドウが表示される

「ムービーオプション」ウィンドウが表示されます。このウィンドウでは、これからビデオ編集をする際に、どのようなファイル形式で保存したいかをあらかじめ設定します。最適な設定をするために、設定の概略がわかっていたほうがよいでしょう。

・ムービー名

この名前は、「内容」画面のタイトル名として使用され、ムービーをディスクに書き込むときにメニューのボタンに表示されます。

・解像度

画質のきめの細かさについての設定ですが、ビデオを何で再生するかにより判断します。設定可能な解像度のリストから解像度を選択します。ビデオの場合元になる素材と同じ解像度で出力すると画像の劣化を抑えられます。

・TV標準

4:3（アナログ放送サイズ）で再生する場合に選択します。

・TVワイドスクリーン

16:9は横長の画面ですので横長のTVなどで再生する場合に選択します。

・HDTVベーシックHD

液晶TVなどで再生する場合の低画質出力設定です。

・HDTVノーマルHD

液晶TVなどで再生する場合の標準画質出力設定です。

・HDTVフルHD

液晶TVなどで再生する場合の高画質出力設定です。

・ウルトラHD(4K)

4K対応の液晶TVなどで再生する場合の高画質出力設定です。

・フレームレート

1秒あたりに何枚の画像（フレーム）を使って映像を構成するかを設定します。フレーム数が高いほど滑らかな映像になりますが、1秒あたりの画像数が増えるため動画のファイルサイズが大きくなります。フレームレートには、NTSCとPALという放送形式が表示される場合があります。放送形式は、国ごとに異なりますので注意が必要です。「i」マークにカーソルを合わせると、各国の放送形式が表示されます。国名をクリックすると、選択した国の放送形式が選択されます。

・オーディオ

モノラル、ステレオ、サラウンド5.1から選択できます。



4 「OK」ボタンをクリックする

設定が完了したら「OK」ボタンをクリックします。



はじめに


スマートフォン用の動画作成方法

スマートフォンでは通常、縦向きに画面を操作するため、動画も縦向きに作成したほうが見やすい場合があります。スマートフォン向け縦向きビデオの作成開始方法を説明します。

1 メイン画面からビデオ編集を開始する

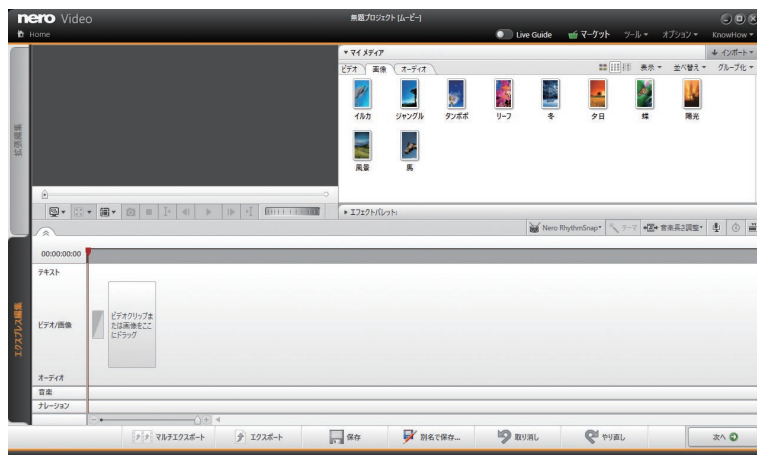
「編集とエクスポート」エリアから「縦向きビデオの編集」をクリックします。

編集とエクスポート

縦向きビデオの編集  クリック

スマートフォンでの作成
ムービー作成 (エクスプレス編集)
ムービー作成 (拡張編集)
Nero Videoプロジェクトを開く
Windows Liveムービーメーカープロジェクトを開く

「エクスプレス編集」の縦向きビデオ編集画面が表示されます。



Chapter 1 - 1

ビデオカメラから素材を取り込む

「みんなのフォトムービー」では、AVCHD カメラで録画した素材をキャプチャーすることなく直接プロジェクトに取り込むことができます。

AVCHD カメラは、ビデオ録画をディスク、フラッシュドライブ、または内蔵ハードドライブに直接保存します。この処理中に生成されるデジタルファイルを、記録メディアごとに「インポートメニュー」の以下の機能を使用して、映像・音声データをプロジェクトに取り込むことができます。

- **フラッシュメモリー**
「AVCHD カメラからインポート」機能
- **DVD ディスク**
「ディスクから AVCHD をインポート」機能
- **ハードディスク**
「ハードディスクから AVCHD をインポート…」機能

ここでは例として、「ハードディスクから AVCHD をインポート…」機能を使って、AVCHD カメラで記録した素材をプロジェクトに取り込む方法を説明します。

1 AVCHD カメラとパソコンを接続する

AVCHD カメラを専用の USB ケーブルでパソコンに接続して、カメラの電源を入れます。

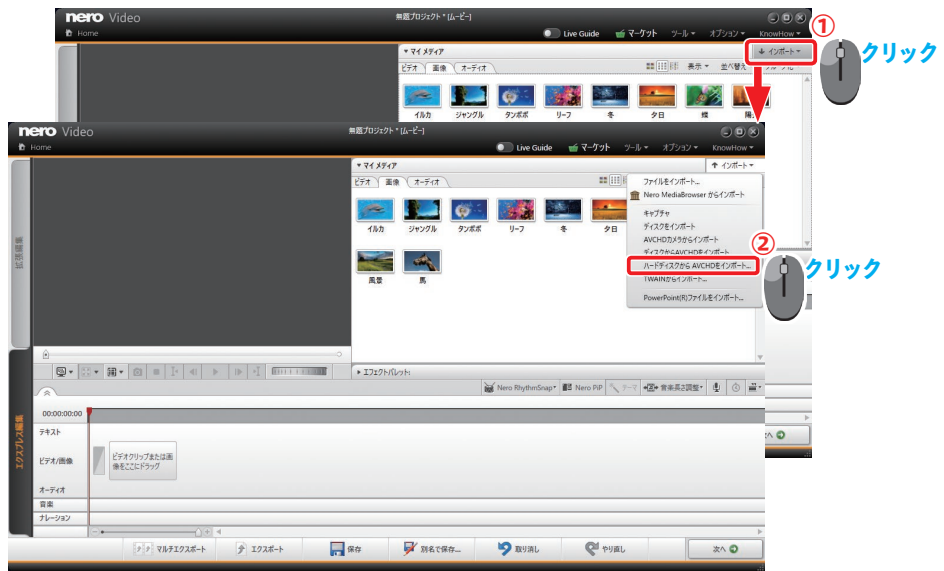
ビデオカメラでパソコンにデータを転送するための設定をします。

これらの操作はメーカーや機種によって異なりますので、使用するカメラの取扱説明書をご覧ください。



2 「インポート」 ボタンをクリックする

画面右上にある「インポート」 ボタンをクリックして、「ハードディスクから AVCHD をインポート…」をクリックします。



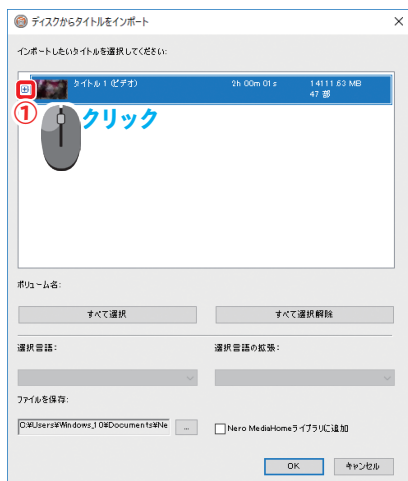
3 「AVCHD」 フォルダを選択する

「フォルダから AVCHD をインポート」 ウィンドウが表示されます。接続しているカメラ（ここでは「USB ドライブ」）を選択すると、カメラ内に記録されているフォルダ情報が表示されますので、「AVCHD」フォルダ内の動画が保存されているフォルダを選択し、「OK」 ボタンをクリックします。



4 取り込みたいファイルを選択する

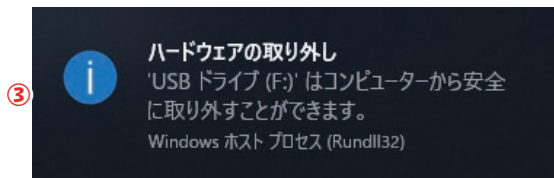
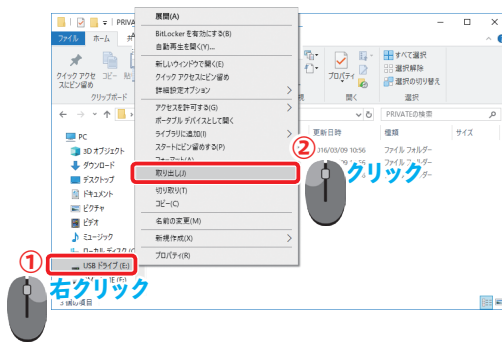
「ディスクからタイトルをインポート」ウィンドウ内のタイトルを選択し、「OK」ボタンをクリックします。録画タイトルを個別に取り込む場合は、タイトル左の「+」をクリックして表示し、取り込む対象を選択します。



5 カメラとパソコンの接続を解除する

Windows の「ファイル選択」ウィンドウで、カメラ（ここでは「USB ドライブ」）を右クリックし、「取り出し」を選択します。

「～はコンピュータから安全に取り外すことができます」とメッセージが表示されたことを確認し、USB ケーブルをパソコンから抜きます。



Chapter 1 - 2

写真素材を取り込む

基本操作として、すでにパソコンの中に保存されている素材をプロジェクトに取り込む作業を説明します。ここでは、「みんなのフォトムービー」を起動させた状態から素材を取り込む方法を説明します。

1 「インポート」 ボタンをクリックする

画面右上の「インポート」 ボタンをクリックし、「ファイルをインポート」 をクリックします。



2 「開く」 ウィンドウでフォルダーを選択する

「開く」 ウィンドウは使用している Windows により表示が若干異なります。ここでは例として、Windows10 で「ピクチャ」 フォルダを選択しています。

フォトムービーに使用したい素材が保管されている、任意の場所を指定します。



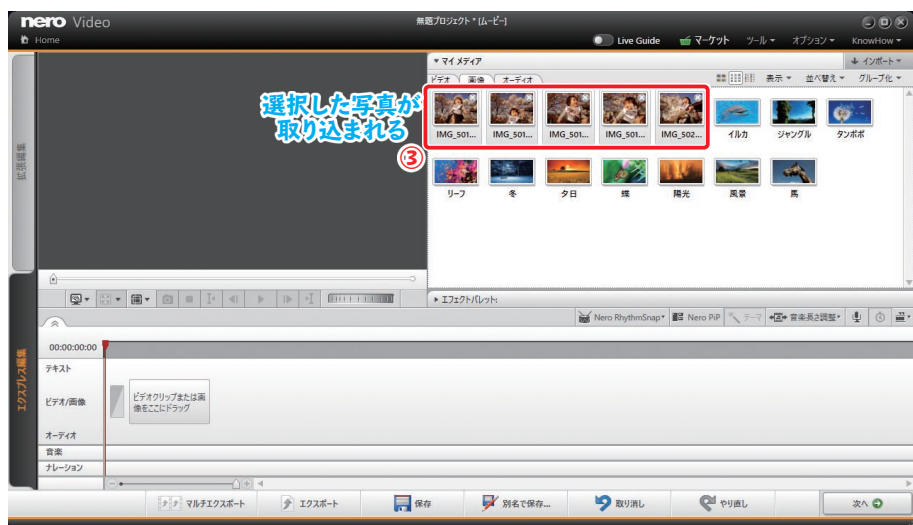
Hint

「開く」 ウィンドウは、一般にエクスプローラーと言われるフォルダー管理方法です。左側にツリー表示されている各名称の右にある「+」や「▶」をクリックすると、展開されサブフォルダーが表示されます。「+」や「▶」がなくなるまで展開することができます。展開していくと、ハードディスク内で整理されているデータ分類の中で、より下層に進んでいることとなります。

3 素材を選択する

素材を複数選択します。1枚の写真の場合、フォトムービー上では数秒間表示されますので、作成したいフォトムービーの時間に合わせて必要な枚数を選択しましょう。

「開く」ボタンをクリックします。



Hint

大切な思い出となる写真は、複数のフォルダーに分けて管理している場合も多いでしょう。異なるフォルダーから写真を選択するには、同じフォルダー内で必要な写真を選択したら、一度「開く」ボタンをクリックして作業を完了します。その後、手順1から手順3までの作業を繰り返し、別のフォルダーの写真を取り込みます。

Chapter 1 - 3

スマートフォンから素材を取込む

「みんなのフォトムービー」では、スマートフォンで記録した素材を直接プロジェクトに取り込むことができます。ここでは例として、iPhoneで記録された素材をプロジェクトに取り込む方法を説明します。

1 iPhone とパソコンを接続する

iPhoneの電源が入っている状態で専用ケーブルがパソコンに接続されているかを確認します。



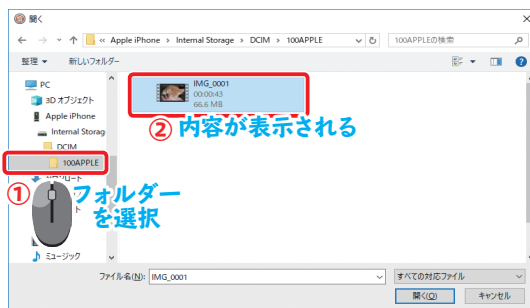
2 「インポート」 ボタンをクリックする

画面右上にある「インポート」ボタンをクリックして、「ファイルをインポート…」をクリックします。



3 「開く」 ウィンドウでスマートフォン端末を選択する

「開く」ウィンドウでスマートフォン端末を選択します。「ファイル選択」ウィンドウは使用している Windows により表示が若干異なります。ここでは例として、Windows10 で「PC」内の「iPhone」端末を選択しています。



Hint

接続したスマートフォンの種類により、スマートフォン側での設定が必要となる場合があります。例えば、Android のスマートフォンの場合、スマートフォン側で「USB の使用」設定ページを開き、「ファイル転送」または「写真の転送」を選択する必要があります。

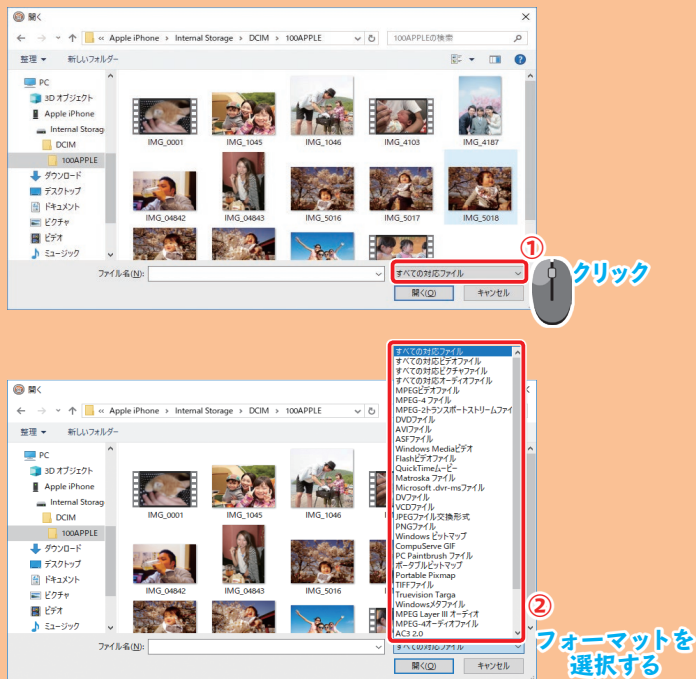
4 素材を選択する

任意のフォルダーを選択すると、写真や動画などのファイルが表示されます。取り込み対象のファイルを選択して、「開く」ボタンをクリックします。



Hint

スマートフォンには、写真（静止画）とムービー（動画）が、混在した状態で保存されています。ファイルが見つからない場合には、インポート画面右下のドロップダウンリストをクリックし、表示対象ファイルのフォーマットを選択すると、表示ファイルを絞り込むことができます。



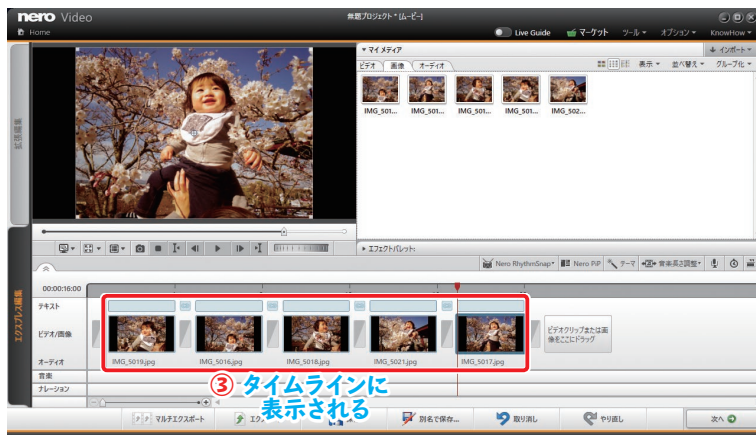
素材を並べる

フォトムービーの元となる素材を、編集画面の「インポート」で取り込む方法は既に説明したとおりです。ここでは、それらの素材をタイムライン上に配置し、並べ替える（再生順序を変える）方法をご説明します。

「タイムライン」上に素材を配置します。配置した素材は、「タイムライン」に並べてみた後に、簡単に順序を並べ替えをすることができます。

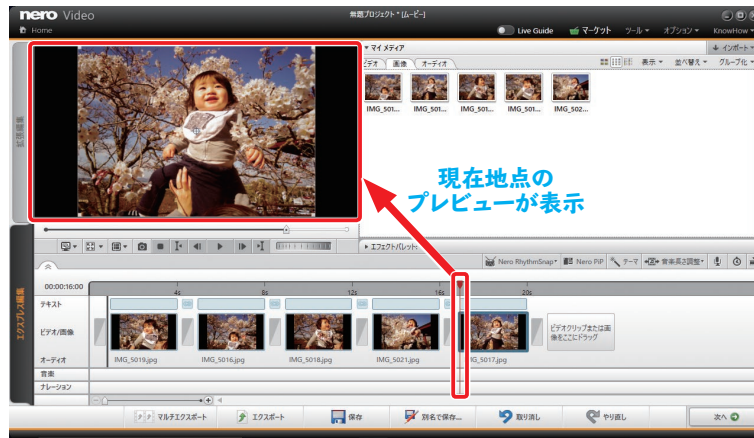
1 タイムラインに並べたい素材をドラッグ&ドロップする

「マイメディア」パレットの上に並んでいる素材全体をドラッグして選択し、タイムラインにドロップします。



2 並べ替える素材を選択する

「タイムライン」上に並んでいる素材の中で、並べ替える素材をクリックして選択します。選択すると、その素材が「プレビュー」画面に表示されます。なお、素材の左側に現在地点を表す赤いラインも表示されていることが確認できます。



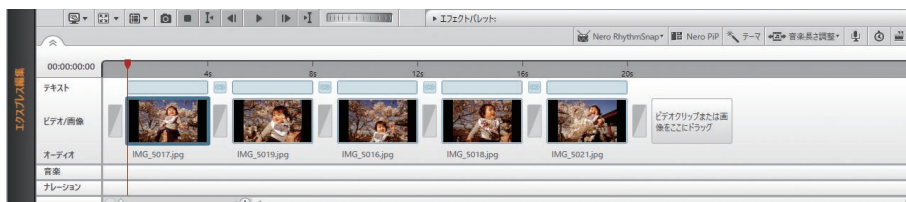
3 素材を挿入したい箇所にドラッグ&ドロップする

選択した素材を、挿入したい箇所にドラッグ&ドロップします。ここでは、例として「タイムライン」にある5番目の素材を1番目の左に移動します。1番目の素材の左側に黒いラインが入るので、それに合わせてドラッグ&ドロップします。



4 素材を並べ替えることができた

これまで5番目にあった素材を1番目に移動することができました。手順2～手順4の操作を繰り返すことで素材をどんどん並べ替えることができます。

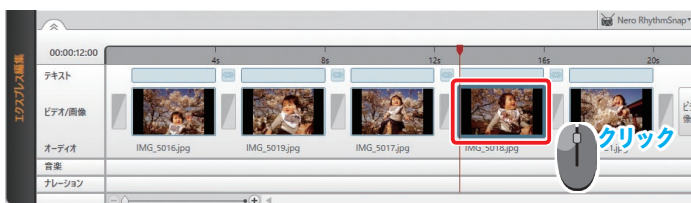


不要な素材を削除する

撮影した思い出の写真などはすべて使いたくなるものですが、退屈なフォトムービーにしてしまわないためには、思い切りよく割愛することも必要です。ここでは不要な素材を「タイムライン」から削除する方法を説明します。

1 削除したい素材を選択する

削除したい素材をクリックして選択します。ここでは、例として「タイムライン」上にある4番目の素材を削除します。素材を選択すると、その素材が紺色の枠で囲われます。



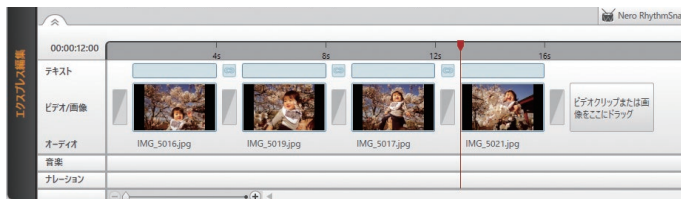
2 素材を選択した状態で「削除」をクリックする

素材を選択した状態で右クリックすると、メニューが表示されます。メニューから「トラックから削除」をクリックします。



3 不要な素材を削除することができた

選択した不要な素材がタイムラインから削除されます。「タイムライン」上の素材が、1つずつ左にずれます。



不要な素材が
削除される

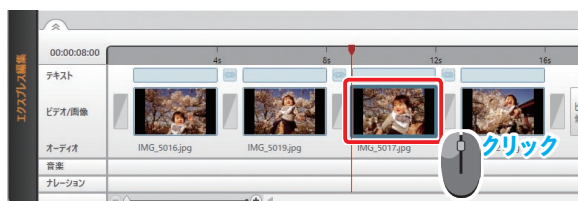
Chapter 1 - 6

表示時間を調整する

「みんなのフォトムービー」では、写真を取り込むと表示される初期設定時間は4秒に設定されています。この表示時間を短くしたり長くしたり調整することができます。

1 調整したい写真を選択する

調整したい写真をクリックして選択します。ここでは、例として「タイムライン」上にある3番目の写真の表示時間を調整します。写真を選択すると、その写真が紺色の枠で囲われます。



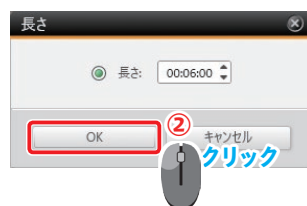
2 右クリックメニューから「長さ設定…」を選択する

写真を選択した状態で右クリックし、「長さ設定…」をクリックします。



3 表示時間を入力する

「長さ」ウィンドウが表示され、表示時間を入力できます。ここでは、例として表示時間を6秒（標準時間の4.00を6.00）に変更します。秒単位のところをマウスで選択し、数字を入力します。設定が完了したら「OK」ボタンをクリックします。

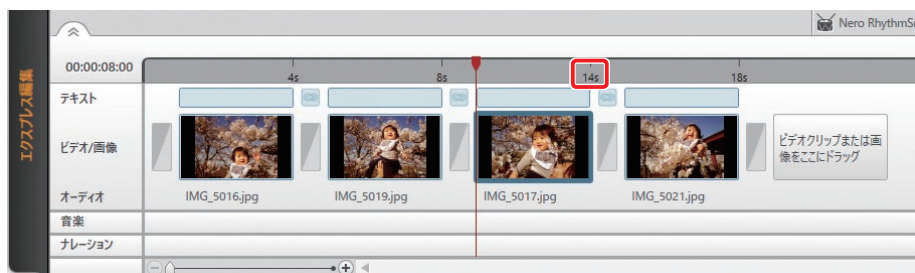
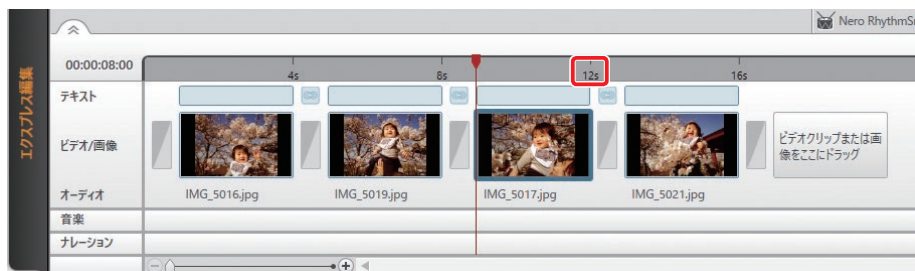


4

写真の表示時間を調整することができた

写真の表示時間が変更されます。

調整した写真は、「タイムライン」上段で「12 S」から「14 S」と2秒伸びていることが確認できます。

**Hint**

ここでは、素材となる写真の表示時間の調整方法を説明しましたが、同様の操作は「トランジション」などの表示時間の調整でも活用できます。

Chapter 1 - 7

縦横比の異なる画像を調整する

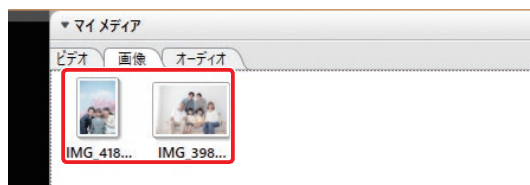
「みんなのフォトムービー」では、プロジェクトの設定と異なる縦横比の画像を配置した時に生ずる黒帯を目立たない画像に置き換えることができます。

ここでは例として、スマートフォンで撮影した「縦撮り」と「横撮り」が混在した素材の編集において、映像に黒帯を表示しないプロジェクトを作成する方法を説明します。

1 スマートフォンから素材をインポートする

スマートフォンから「横撮り」と「縦撮り」の素材をインポートします。

※詳しい操作は「Chapter1-3 スマートフォンから素材を取込む」(→ P17)



2 タイムラインに素材をドラッグ&ドロップする


タイムラインに素材をドラッグ&ドロップします。

※詳しい操作は「Chapter1-4 素材を並べる」(→ P20)

「横撮り」と「縦撮り」の素材が混在しているため、黒帯が目立ちます。



3 「黒帯を取り除く」アイコンをクリックする

黒帯を取り除く素材のサムネイルにカーソルを近づけるとサムネイルの左上に表示される「（黒帯を取り除く）」アイコンをクリックします。



素材左右の黒帯が、素材を拡大した画像の一部に置き換えられます。これにより、縦横比の異なる素材の違和感を軽減することができます。



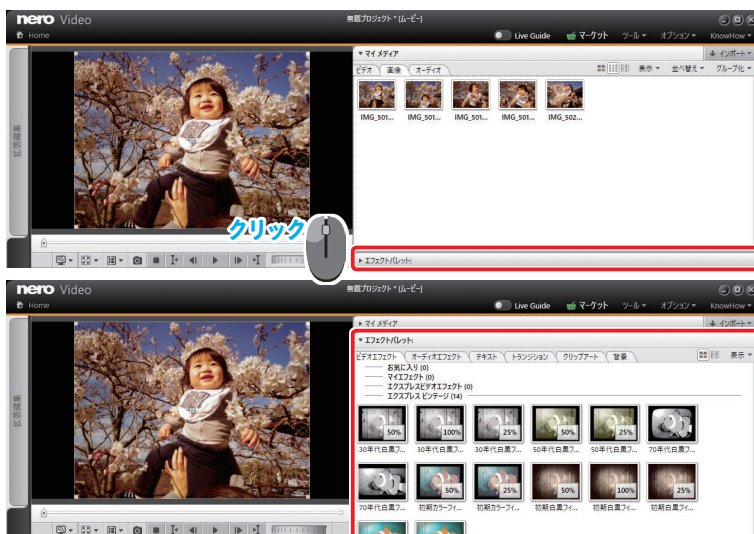
Chapter 1 - 8

画面切り替えの効果を加える

画面の切り替え効果のことを「トランジション」といいます。「トランジション」を追加すると、スムーズに画面が切り替わるので、映像が一段と洗練された印象になります。

1 「エフェクトパレット」をクリックする

画面中央に隠れている「エフェクトパレット」をクリックします。エフェクトが表示されます。



2 「トランジション」タブをクリックして任意のトランジションを選択する

「トランジション」タブをクリックすると、トランジションのサンプルが表示されます。サンプルからお好みのトランジションを選択します。



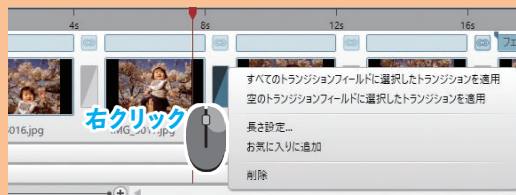
3 選択した「トランジション」を適用する

選択した「トランジション」をドラッグし、「タイムライン」上にある素材と素材の間にある長方形のボックスにドラッグ&ドロップします。ここでは、例として2番目の素材と3番目の素材の間にトランジションを適用します。



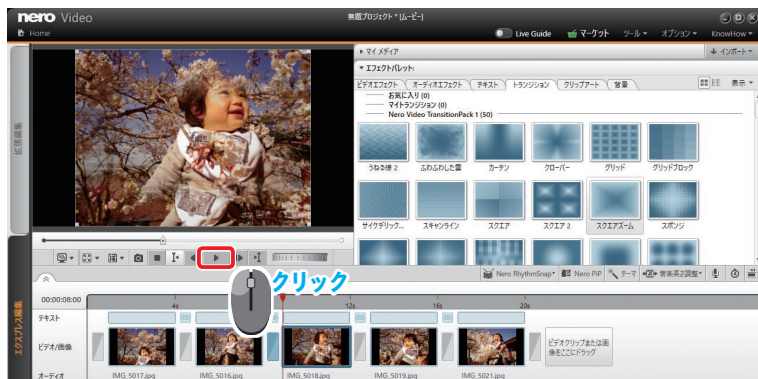
Hint

「タイムライン」上の素材と素材の間にある長方形のボックスを右クリックするとメニューが表示されます。右クリックメニューでは、適用したトランジションの削除やすべてのトランジションにランダムで適用するなどの一括設定もできます。



4 効果を確認するために、「▶」再生ボタンをクリックする

プレビュー画面で「▶」再生ボタンをクリックすると、画面切り替え効果を確認することができます。お好みのトランジションを探してみましょう。



Chapter 1 - 9

文字を入力する

フォトムービーに文字を入れることができます。ダイレクトな表現方法として有効な手段ですので、写真に合わせて文字を入力してみましょう。

1 文字を入力して説明を加えたい写真をクリックする

文字を入力して説明を加えたい「タイムライン」上の素材をクリックします。クリックすると、タイムラインの先頭にあった赤色の縦線が、選択した素材にあった赤色の縦線が、選択した素材に移動します。ここでは、例として「タイムライン」で5番目に配置されている写真を選択します。



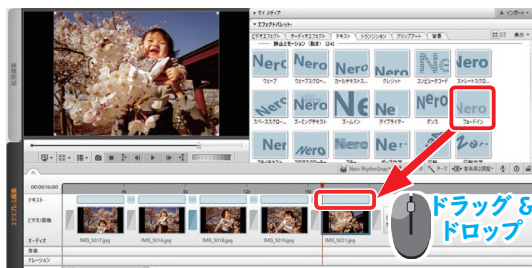
2 「エフェクトパレット」にある「テキスト」タブをクリックする

「エフェクトパレット」にある「テキスト」タブをクリックします。



3 テキストスタイルを選択し、適用する

「テキスト」タブの中から任意のテキストスタイルを選択し、「タイムライン」のテキストラインの空欄にドラッグ&ドロップします。ここでは、例として「フェードイン」を選択し、ドラッグ&ドロップします。



4 「プレビュー画面」で直接文字を入力する

プレビュー画面にテキストエリアが明転し、「フォント」ウインドウが表示されます。プレビュー画面をクリックすると文字が入力できますので任意の文章を入力しましょう。入力した文字はお好みの「フォント」にカスタマイズできます。文字の色やサイズなどが変更できます。

※詳しい操作は「Chapter3-1 テキストの書式・属性の詳細を設定する」(→ P47)

最後に「完了」ボタンをクリックすると文字の入力が適用されます。



Hint

「完了」ボタンをクリックすると、プレビューに効果が適用されます。文字サイズが小さい場合は、「フォント」ボタンをクリックすると、再度「フォント」ウインドウが表示され編集できますので、プレビューで見栄えを確認しながら「編集」を繰り返すとよいでしょう。また、文字の位置や動かし方の細かい設定は「拡張編集」モードでおこなうことができます。

※詳しい操作は「Chapter3-1 テキストの書式・属性の詳細を設定する」(→ P47)

5 入力文字の最終調整をする

「エクスプレス編集」モードでは、素材ごとの時間にあわせて文字表示を切り替えることができます。



Hint

写真素材の1つずつに文字入力をするすることで、動きのあるフォトムービーを作ることができます。



Chapter 1 - 10

BGM を追加する

ムービーまたはスライドショーにお好みの BGM を追加します。BGM を選択して音楽トラックに配置し、オーディオレベルを調整します。「みんなのフォトムービー」には多数の BGM 素材が標準で用意されています。

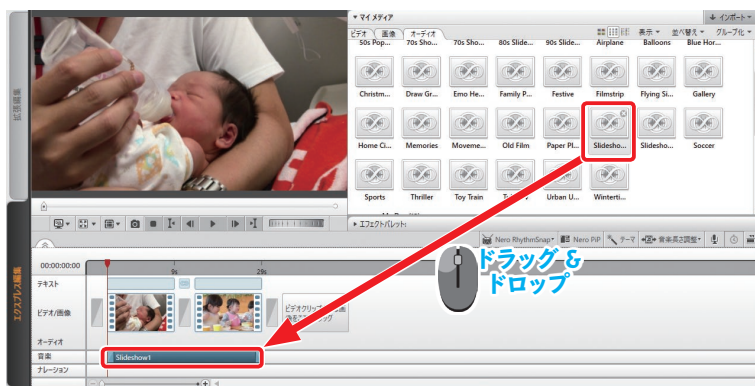
1 「マイメディア」にある「オーディオ」タブをクリックする

「マイメディア」表示領域内の、「オーディオ」タブをクリックします。



2 タイムラインに BGM 素材をドラッグ&ドロップする

既存の BGM 素材の中から任意のファイルを選択して、タイムラインの音楽トラックにドラッグ&ドロップします。



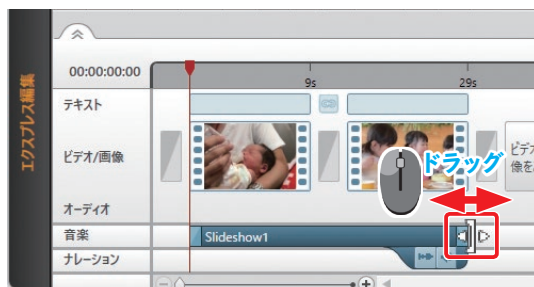
Hint

BGM 等のオーディオ素材は、スマートフォンや IC レコーダー等で録音した素材をインポートして使用することもできます。

※詳しい操作は「Chapter1-3 スマートフォンから素材を取込む」(→ P17)

3 BGMの長さを調整する

BGM（オーディオ）クリップの右端にカーソルを合わせ左右にドラッグして長さを調整します。

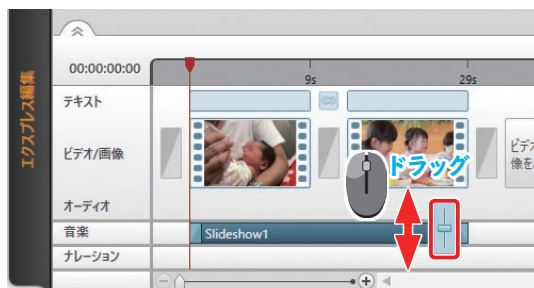


Hint

一部の既存のBGM素材では、自動的にオーディオクリップはプロジェクトの長さ（映像素材の長さ）に調整されます。

4 BGMの音量を調整する

BGM（オーディオ）クリップ上にカーソルを移動すると、クリップ右端下にスピーカのアイコンが表示されます。スピーカアイコンをクリックするとスライダーが表示されますので、上下にドラッグして音量を調整します。



5 「プレビュー」で再生確認する

「プレビュー」で再生確認し、必要であれば動画素材の音声の音量を調整します。音声の音量を調整するには、手順4と同じ操作で調整できます。



Hint

種類の異なる2つ以上のサウンドトラックがある場合は、別のオーディオクリップ上に複数のオーディオクリップを重ねることができます。たとえば、音楽を「音楽」トラック上で再生しながら、ナレーション（口頭のコメント）を「ナレーション」トラック上に重ねることができます。

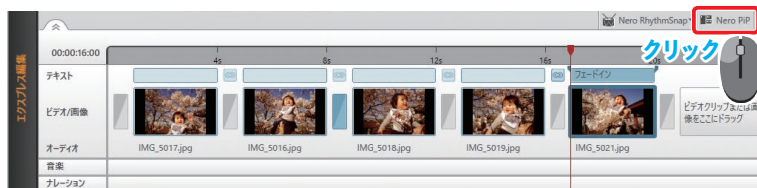
Chapter 1 – 11

複数の素材を重ねる

「Nero PiP エフェクト」機能を使うと、複数の素材を同時に表示することができます。

1 「Nero PiP」 ボタンをクリックする

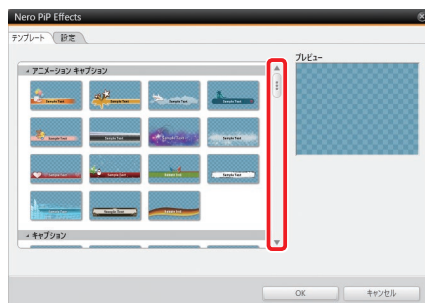
タイムライン右上のボタンエリアにある「Nero PiP」ボタンをクリックします。



2 「Nero PiP Effects」 ウィンドウが表示される

「テンプレート」タブの状態です「Nero PiP Effects」ウィンドウが表示されます。

テンプレートは、「キャプション」や「基本エフェクト」、「背景の上に2つのビデオを配置」など、いくつかの項目別に用意されていますので、ウィンドウの左側のテンプレート選択エリアから、スライダを動かしてお好みのテンプレートを探します。



3 テンプレート選択エリアからテンプレートを選択する

お好みのテンプレートをテンプレート選択エリアから選択します。ここでは、例として「基本エフェクト」の赤枠で囲んだテンプレートを選択します。選択したテンプレートのアニメーションがプレビューに表示されます。

選べたら、「OK」ボタンをクリックします。



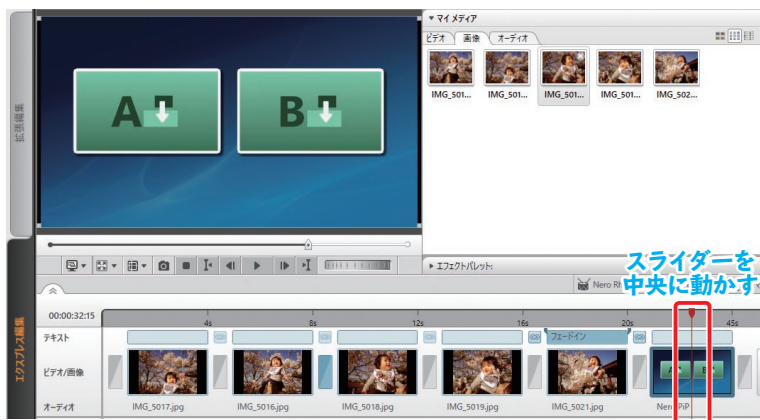


Hint

選択したテンプレートで背景が使用できる場合は、「背景」のドロップダウンメニューで好みの背景色を選択します。また、選択したテンプレートの表示時間を変更するには、「設定」タブをクリックして、「長さ」入力フィールドに目的の表示時間の値を入力します。

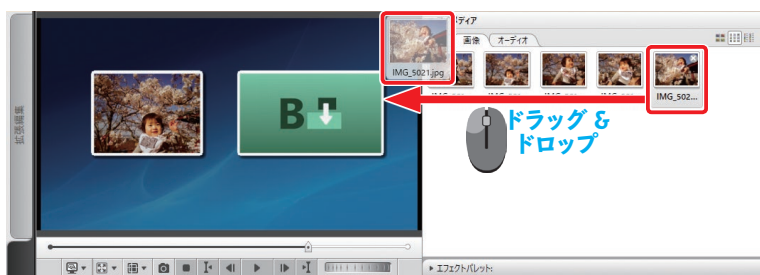
4 テンプレートをプレビュー画面に表示する

タイムライン上の現在地点を示す赤いスライダーをドラッグして、テンプレートの中央に動かします。映像変化が大きいテンプレートの場合、初期位置ではテンプレートの全容がわからない場合があるためです。



5 使用する素材をプレビュー画面にドラッグ&ドロップする

「マイメディア」から使用する素材をプレビュー画面にある各「プレースホルダー」に、直接ドラッグ&ドロップします。このテンプレートでは、「A」、「B」の2か所に素材を配置することができます。



6 テンプレートにすべての素材を挿入できた

「プレースホルダー」にすべての素材を挿入し、プレビュー画面で「▶」再生ボタンをクリックし、内容を確認します。



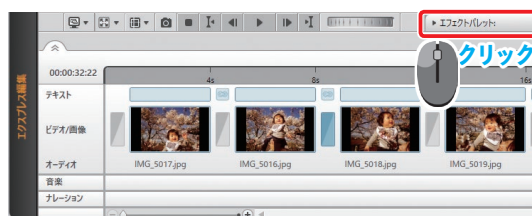
Chapter 1 - 12

エフェクトを追加する (エクスプレッス編集)

プロジェクトに挿入したビデオクリップ、オーディオクリップ、または画像にエフェクトを割り当てることができます。

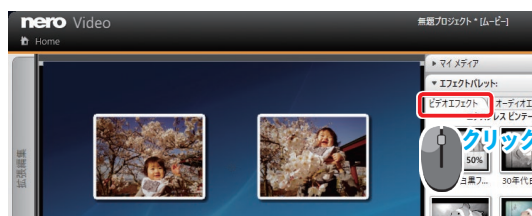
1 「エフェクトパレット」をクリックする

タイムラインに素材を配置した状態で、「エフェクトパレット」をクリックします。



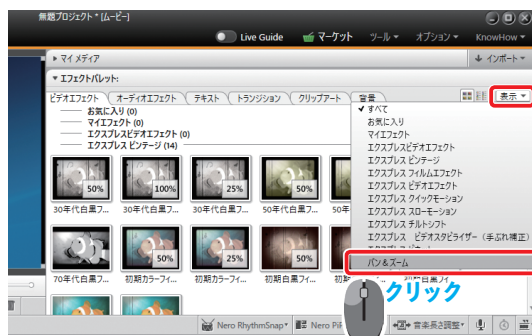
2 「ビデオエフェクト」タブをクリックする

「エフェクトパレット」の「ビデオエフェクト」タブをクリックします。



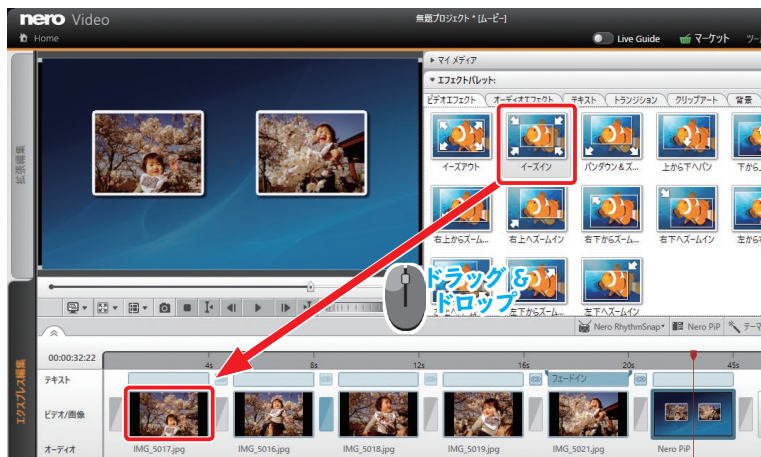
3 エフェクトタイプをカテゴリーで選択する

タブ右側の「表示」をクリックし、ドロップダウンメニューから、使用するエフェクトのサブカテゴリを選択します。選択したグループのエフェクトタイプが表示されます。ここでは、例として「パン&ズーム」を選択します。



4 素材にエフェクトを適用する

追加するエフェクトを「エフェクトパレット」からタイムライン上の素材にドラッグ&ドロップします。ここでは、例として「イーズイン」をドラッグし、タイムライン上の左端の素材にドロップします。



5 エフェクトの効果を確認する

プレビュー画面で再生すると、エフェクトの効果が素材に適用されたことが確認できます。



Chapter 1 – 13

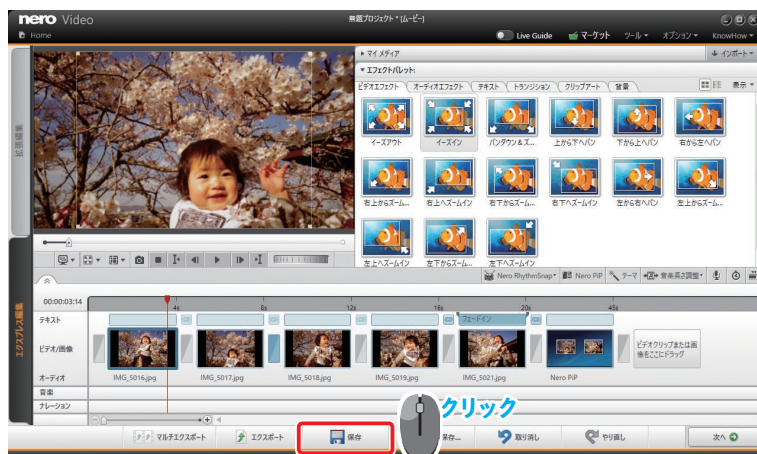
プロジェクトファイルを保存する

プロジェクトファイルとは、「みんなのフォトムービー」でおこなったフォトムービー作成作業を保存したファイルのことです。プロジェクトは、フォトムービーの設計図と考えるとよいでしょう。

ムービーの作成は時間がかかるため、一度に作業が終わらないこともあります。その場合には、作業経過を保存しておくことができます。プロジェクトファイルを保存しておくことで、「みんなのフォトムービー」を一旦終了しても、プロジェクトファイルを開くことで、引き続き作業が楽しめます。

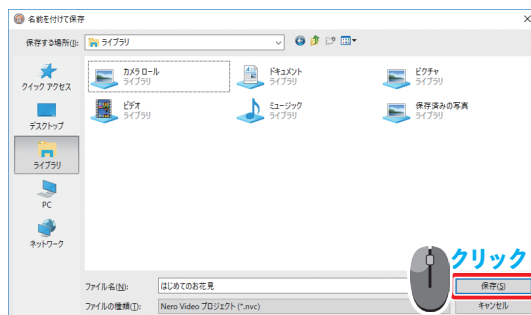
1 タスバーの「保存」ボタンをクリックする

メインウィンドウの下にあるタスバーの「保存」ボタンをクリックします。




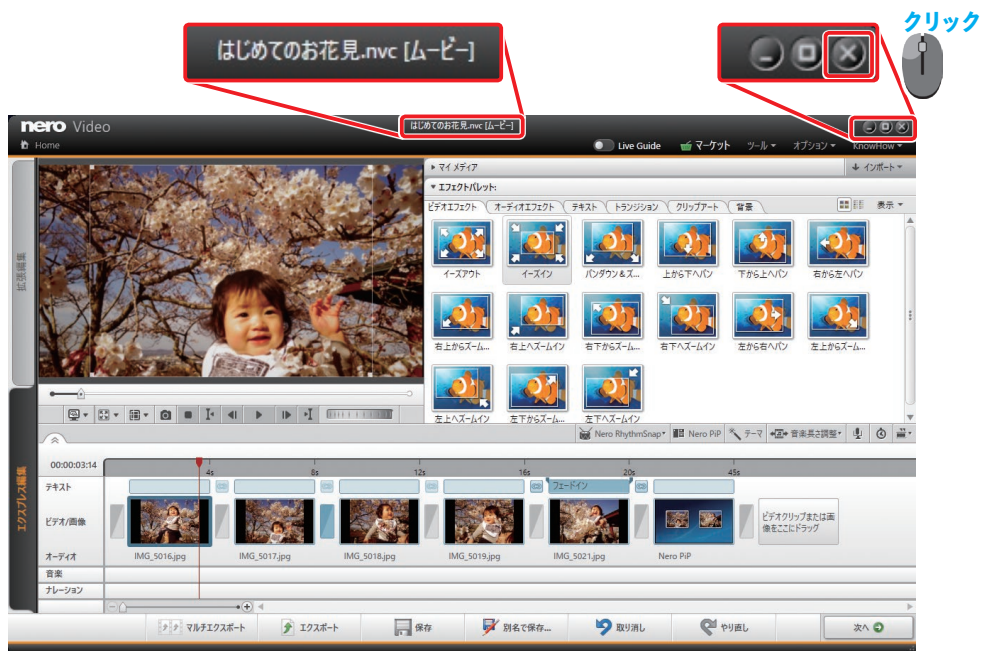
2 ファイル名を入力して「保存」ボタンをクリックする

「名前を付けて保存」ウィンドウ表示されます。標準ではファイル名が無題になっています。ファイル名を入力して「保存」ボタンをクリックするとプロジェクトが保存されます。プロジェクトのファイルの拡張子は「.nvc」で保存されます。



3 プロジェクトファイルを確認する

プロジェクトファイルを保存すると、タイトルバーにプロジェクトのファイル名が表示されます。ここでは例として、「はじめてのお花見」というプロジェクト名で保存しましたので、タイトルバーに表示されています。「みんなのフォトムービー」での作業を中断したいときは、まずプロジェクトファイルを保存してから、「 (閉じる)」ボタンをクリックすることで、プログラムを終了することができます。



「みんなのフォトムービー」を終了後、作業を再開するときは、プロジェクトファイルを直接ダブルクリックすると、作業終了前の状態から作業を再開できます。



Hint

「みんなのフォトムービー」では、複数のプロジェクトを同時に編集することはできません。2つのプロジェクトファイルを結合して1つのフォトムービーにする場合、1つのプロジェクトから動画ファイルを作成し、もう1つのプロジェクトに作成した動画ファイルを読み込む必要があります。

※動画ファイルの作成は、「Chapter3-3 ビデオファイルを作成する」(→P53)を参照してください。

※動画の読み込みは、「Chapter1-2 写真素材を取り込む」(→P15)を参照してください。

Chapter 2 - 1

オープニングムービーを作ろう！

「みんなのフォトムービー」で、ウェディング用オープニングムービーを作成する方法を説明します。

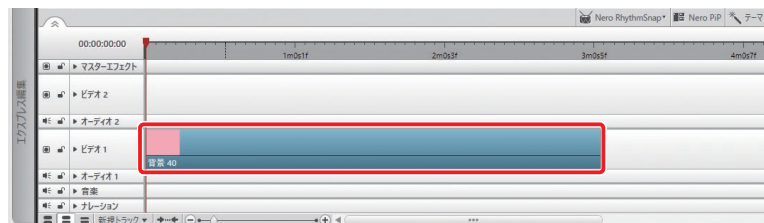
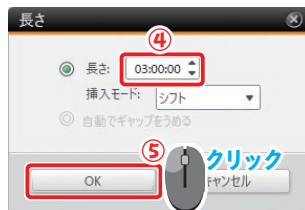
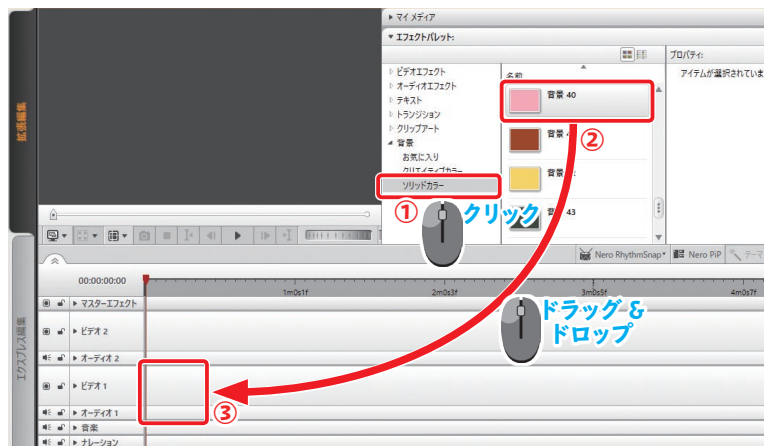
ウェディングでは、主に新郎新婦の紹介や馴れ初めなどをまとめたムービーが披露宴のオープニングを飾る演出として使われます。ここでは、例として《A. ウェルカムボード》→《B. 新郎自己紹介》→《C. 新婦自己紹介》という構成で説明します。また、ビデオ編集の活用編として「拡張編集モード」を使い、Chapter1で説明した基本操作の理解を前提に進めていきます。

1 ムービー全体の長さを想定し背景色を配置する

「エフェクトパレット」のカテゴリの中から「背景」を選択し、カラーを選択します。

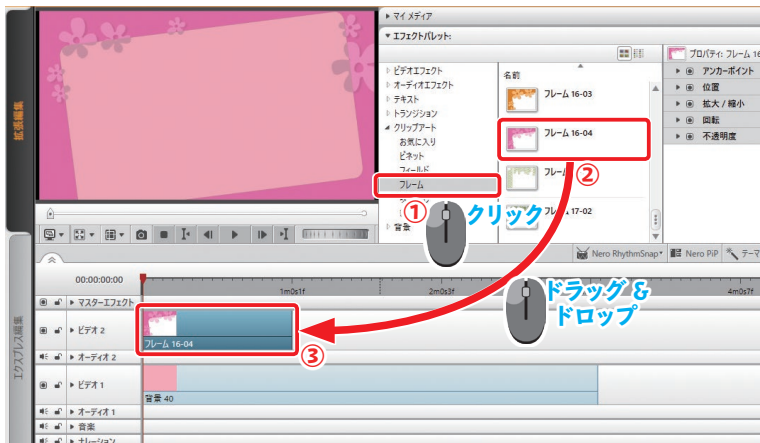
ここでは例として、「ソリッドカラー」にある「背景 40」のピンクを選択し、タイムラインの「ビデオ 1」トラックにドラッグ&ドロップします。

オープニングムービーは、冒頭の演出になりますので3～5分ぐらいが程よいでしょう。ここでは、例として、背景素材を右クリックし「長さ設定」から「03:00:00」（3分）と入力し、「OK」ボタンをクリックします。



2 クリップアートからフレームを配置する

「エフェクトパレット」のカテゴリーの中から「クリップアート」を選択し、フレーム素材を取り込みます。ここでは、例として「フレーム」にある「フレーム 16-04」をタイムラインに配置しました。表示時間は1分と指定しましょう。

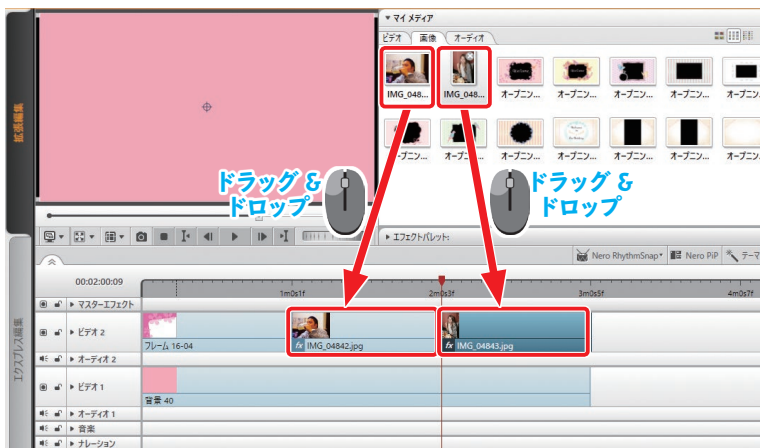


Hint


ビデオトラックに配置した素材の長さを設定するには、素材の両端どちらかにマウスを移動させドラッグすると表示時間の調整ができます。

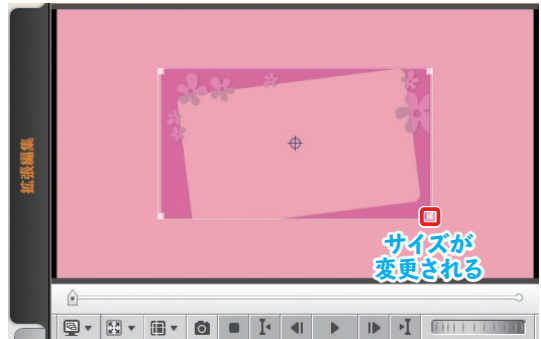
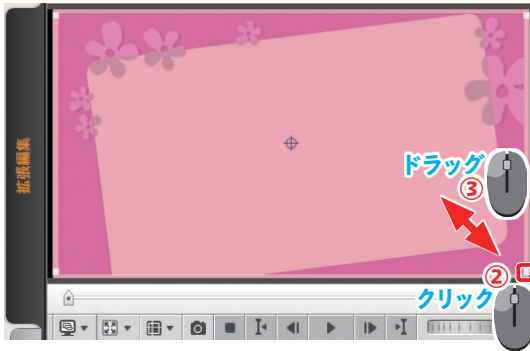
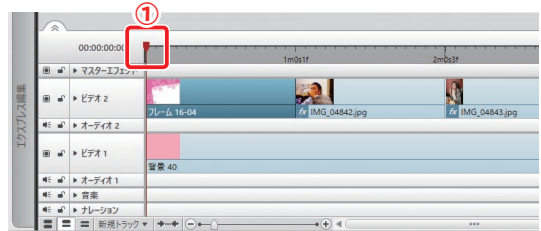
3 新郎新婦の写真素材を配置する

手順1と同様の操作で新郎、新婦の写真素材をタイムラインに各1分表示します。



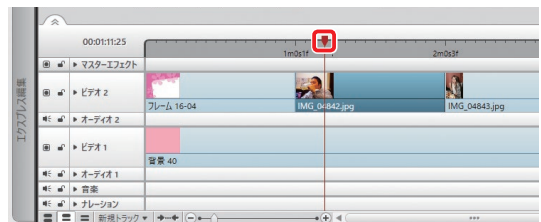
4 フレームの表示サイズを変更する

配置したフレームの表示サイズを変更します。タイムライン上の現在の位置を示す赤いラインを、フレーム素材が表示される位置にドラッグして移動すると、プレビュー画面にフレームが表示されます。フレーム四隅のいずれかをクリックするとマウスカーソルが「」に変化しますので、画面外方向または内方向にドラッグすると、フレームの表示サイズを変更できます。



5 新郎新婦の写真素材のレイアウトを変更する

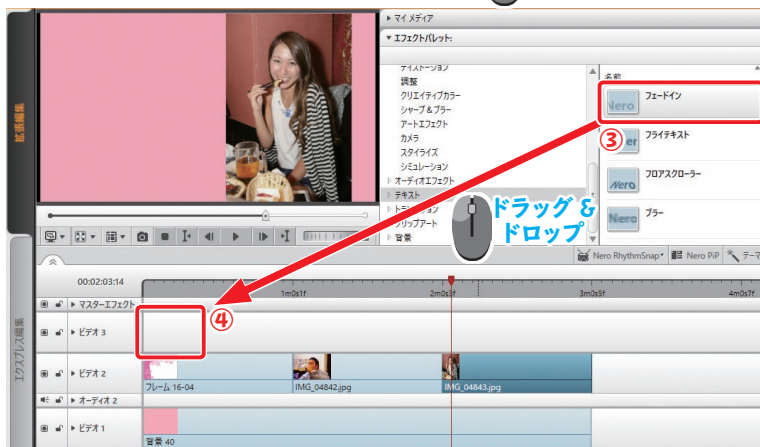
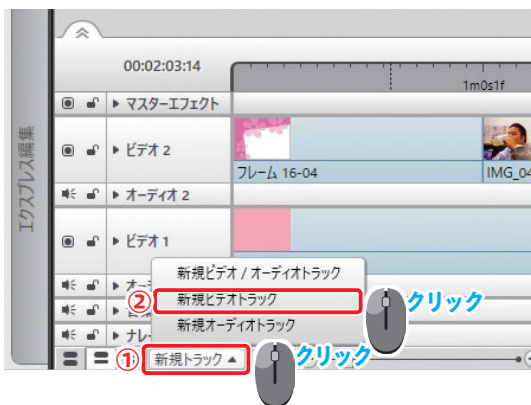
ここでは、例として新婦の写真素材をプレビュー上で直接ドラッグして位置を移動します。同様に、新郎の写真素材もドラッグして位置を移動します。



6 各素材にそれぞれ文字を入力する

文字を入力するためのビデオラインを追加します。「新規トラック」ボタンをクリックし、「新規ビデオトラック」をクリックします。

続けて、フレーム素材と同じ時間帯に合わせ、「エフェクトパレット」のカテゴリーから「テキスト」を選択し、任意のテキストタイプをタイムラインにドラッグ&ドロップします。同様に、新郎新婦の写真素材にもテキストを設定します。



7 プレビューウィンドウで編集内容を確認する

編集が完了後、プレビュー画面で「▶」再生ボタンをクリックし、内容を確認します。

もちろん、BGMなどの効果もつけることができます。



Chapter 2 - 2

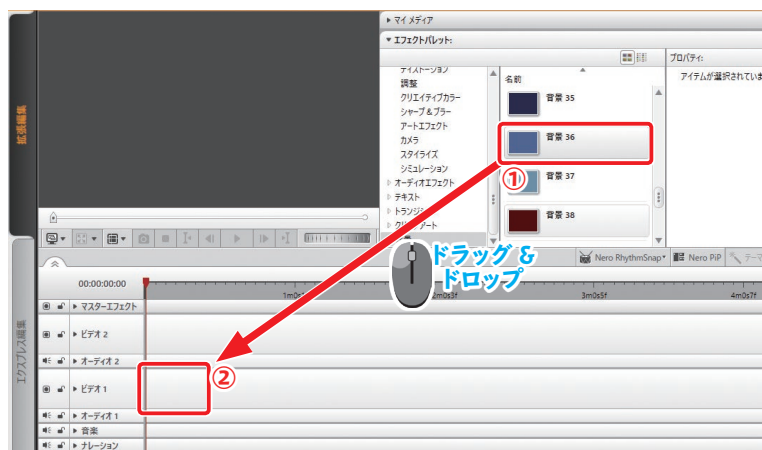
エンディングムービーを作ろう！

エンディングムービーは、新郎新婦が魅せる披露宴最後の演出です。思い出の写真などと共に、披露宴出席者の名前とお礼のメッセージなどをまとめた映像演出になります。

1 「背景」画面を設定する

「エフェクトパレット」のカテゴリから「背景」を選択し、お好みの色をタイムラインの「ビデオ 1」にドラッグ&ドロップします。ここでは、例として「背景 36」を選択して、ドラッグ&ドロップさせ、時間を3分程度に指定します。

※詳しい操作は「Chapter1-6 表示時間を調整する」(→P23)

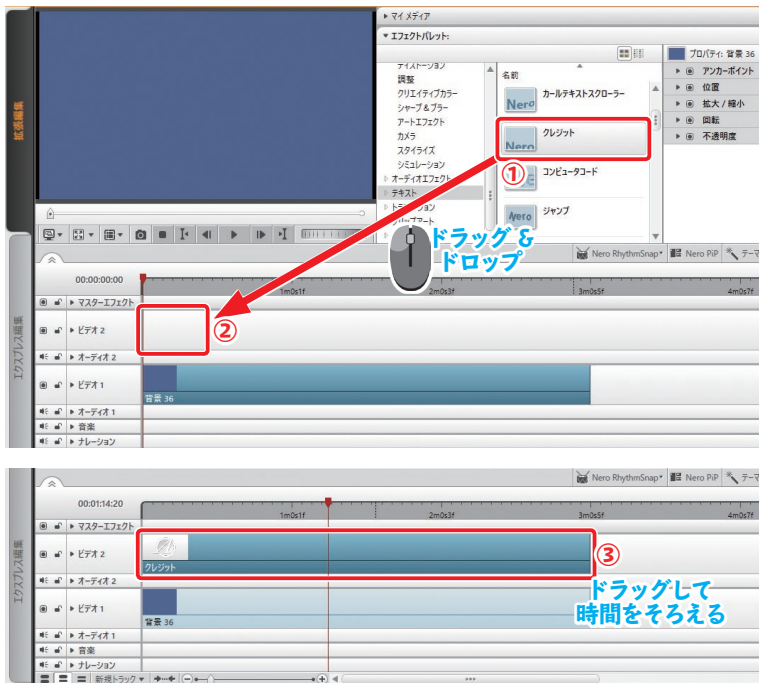


2 「テキスト」からパターンを選択する

「エフェクトパレット」のカテゴリーから「テキスト」を選択し、その中で「クレジット」をタイムラインの「ビデオ 2」にドラッグ&ドロップします。テキストのテンプレートは多数ありますので好みのテンプレートを選びましょう。ここでは例として「クレジット」を選択します。画面下方向から上方向に映画のエンドクレジットのように文字を移動するテンプレートです。

手順 1 と同様に時間を指定します。

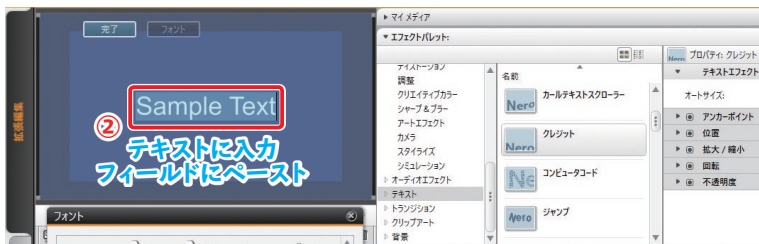
※詳しい操作は「Chapter1-6 表示時間を調整する」(→ P23)



3 披露宴出席者の名前を入力する

作成したいエンディングムービーに合わせて文字を入力します。テキスト入力フィールドに直接入力することもできますが、出席者全員を書くと膨大な文字情報になりますので、メモ帳などのテキストエディタであらかじめ名前の一覧を作成しておき、テキスト入力フィールドにコピー&ペーストするとよいでしょう。ここでは、例として新郎新婦と友人の名前をメモ帳で入力し、コピー&ペーストします。

※詳しい操作は「Chapter1-9 文字を入力する」(→ P29)



ペーストしたテキストが反映されます。



文字の入力ができたら、「完了」ボタンをクリックすると画面に反映されます。



Hint

コピー＆ペーストの操作をする際に、ショートカットキーを使用すると、より効率よく作業を進めることができます。

- 全てを選択 : Ctrl + A
- コピー : Ctrl + C
- ペースト : Ctrl + V

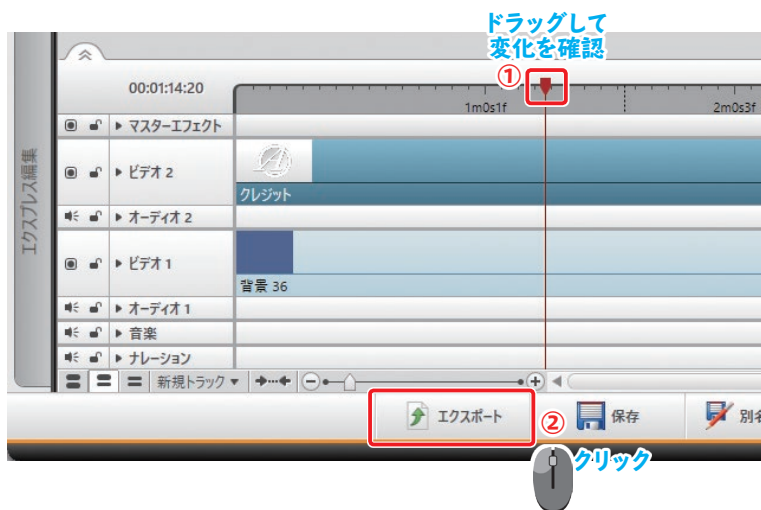
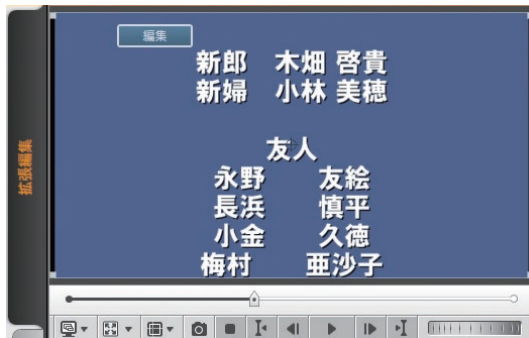
4 「タイムライン」のエンディングムービーを確認する

「タイムライン」にエンディングムービーが反映されません。現在の位置を示す赤いラインをドラッグして文字変化を確認します。また、エンディングムービーにBGMを使うこともできます。

※詳しい操作は「Chapter1-10 BGMを追加する」(→P31)

「プレビュー」で再生確認し、問題がないようでしたら「エクスポート」でファイルを作成します。

※詳しい操作は「Chapter3-3 ビデオファイルを作成する」(→P53)



Chapter 3 - 1

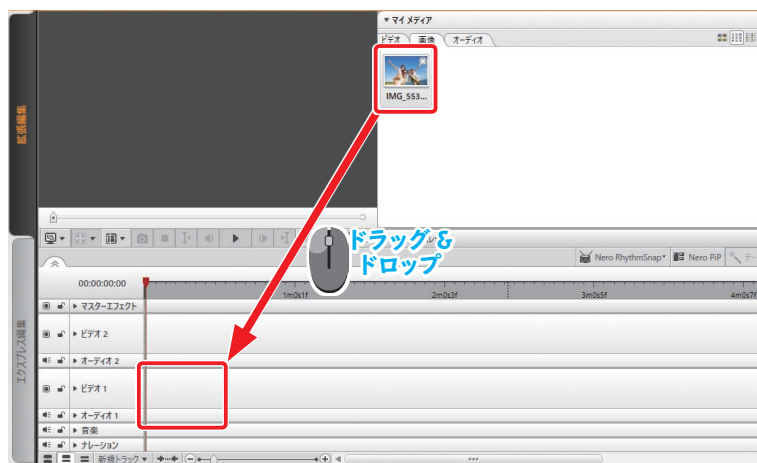
テキストの書式・属性の詳細を設定する

「フォントパレット」を使用して、映像に挿入したテキストの書式や属性を自由に変更することができます。ここでは、「拡張編集モード」でのテキスト書式・属性の変更方法を説明します。

1 タイムラインのビデオトラックに素材を配置する

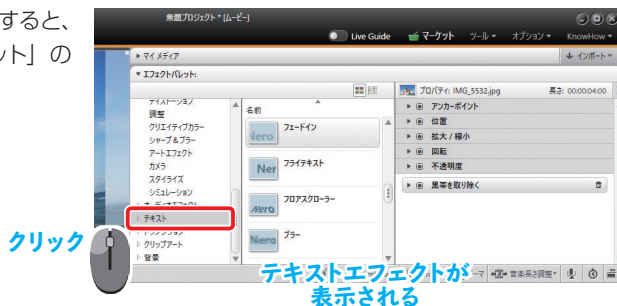
タイムラインの「ビデオ1」トラックに素材をドラッグ&ドロップします。

※詳しい操作は「Chapter1-4 素材を並べる」(→ P20)



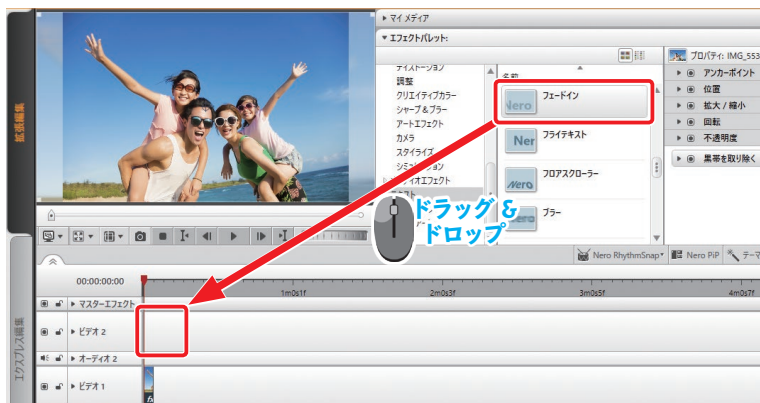
2 「エフェクトパレット」の「テキスト」をクリックする

「エフェクトパレット」の「テキスト」をクリックすると、テキストエフェクトの種類が「エフェクトパレット」の右側のエリアに一覧表示されます。



3 テキストエフェクトを選択する

ここでは例として、「フェードイン」エフェクトを適用します。「フェードイン」エフェクト選択し、タイムラインのビデオトラックにドラッグ&ドロップします。



「フォントパレット」が表示されます。



4 テキスト入力フィールドにテキストを入力する

プレビューエリア中央のテキスト入力フィールドに「Sample Text」という文字列が表示されます。「Sample Text」文字列を消去し、任意のテキストを入力します。ここでは、「みんなのフォトムービー」と入力します。



5 テキストの書式を設定する

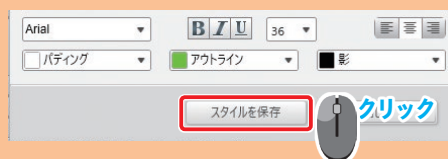
フォントパレットにはあらかじめ多くのフォントスタイルが用意されており、お好みの効果を選択することで適用できます。

また、各項目を独自に設定することもできます。



Hint

「フォントパレット」下部の「スタイルを保存」ボタンをクリックすると、設定した書式や属性を登録することができます。



6 書式設定を適用する

「フォントパレット」下部の「閉じる」ボタンをクリックし、プレビューエリアの左上にある「完了」ボタンをクリックすると、テキストとそのフォントにおこなった変更がすべて適用されます。



Chapter 3 - 2

テキストエフェクトをカスタマイズする

映像に挿入したテキストエフェクトの視覚効果を、複数のエフェクトを組み合わせることでカスタマイズすることもできます。

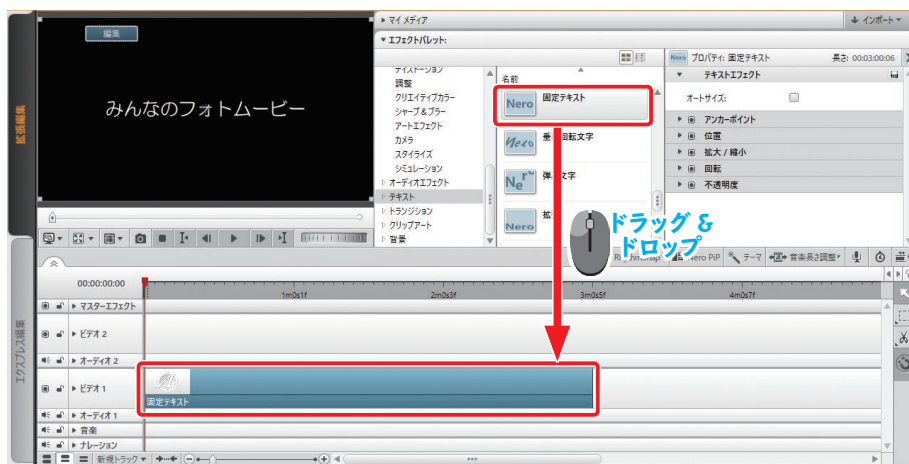
「みんなのフォトムービー」では、テキストをエフェクトとして挿入するため、あらかじめ登録された視覚効果がテキストに適用されます。また、複数のエフェクトを組み合わせることで、独自のエフェクトを作成することもできます。

ここでは例として、テキストエフェクトの「固定テキスト」とビデオエフェクトの「デュオトーン」を組み合わせることでテキストの色を徐々に変えるエフェクトを作成します。

1 テキストを挿入する

「エフェクトパレット」内の「テキスト」エフェクトのサブカテゴリ「固定テキスト」をタイムラインの「ビデオ 1」トラックにドラッグ&ドロップし、文字を入力して書式を設定します。

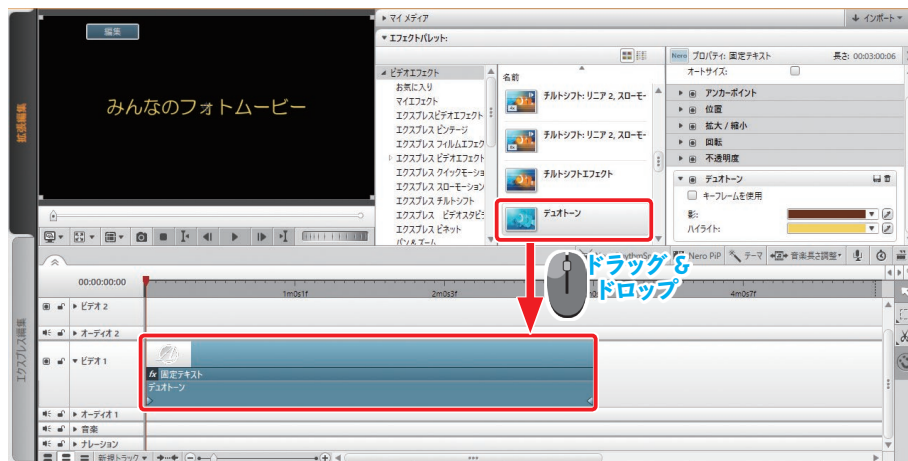
※詳しい操作は「Chapter3-1 テキストの書式・属性の詳細を設定する」(→ P47)



2 ビデオエフェクトを挿入する

「エフェクトパレット」から「ビデオエフェクト」を選択し、その中の「デュオートーン」エフェクタをタイムラインの「ビデオ 1」のテキストエフェクト上にドラッグ&ドロップします。

「エフェクトパレット」の右側の「プロパティ」エリア下部に「デュオートーン」の設定ウインドウが追加表示されます。



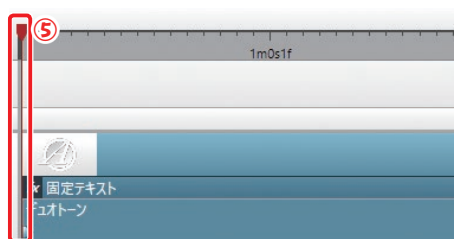
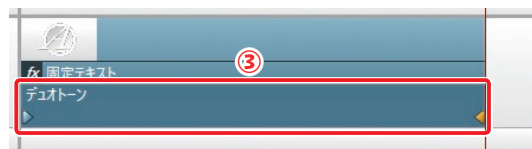
3 キーフレームを適用する

「デュオートーン」設定ウインドウ内の「キーフレームを使用」にチェックを入れます。

チェックを入れると追加操作ボタンが「キーフレームを使用」の右側に表示されます。

さらに、タイムライン上のテキスト素材の両端に「▶」「◀」のマークが表示されます。これがキーフレームです。

「デュオートーン」設定ウインドウ内の追加操作ボタン「▶」または「◀」をクリックすることで現在位置を表す赤いラインを設定対象のキーフレームの位置に移動することができます。



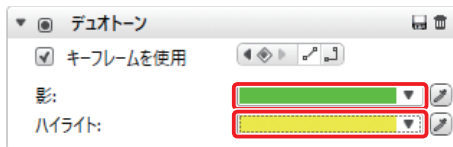
4 最初のキーフレームにテキストカラーを設定する

「▶」をクリックして、赤いラインをテキストエフェクトの最初のキーフレームに移動します。
ここでは例として、「影」を緑色、「ハイライト」を白色に設定します。



5 最後のキーフレームにテキストカラーを設定する

「◀」をクリックし、赤いラインをテキストエフェクトの最後のキーフレームに移動します。
ここでは例として、「影」を緑色、「ハイライト」を黄色に設定します。



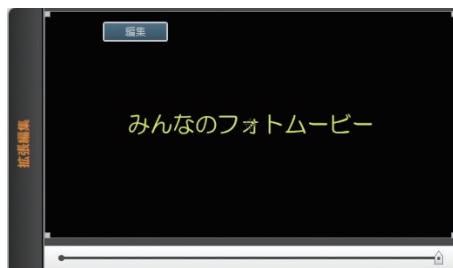
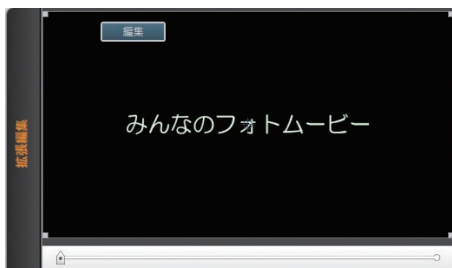
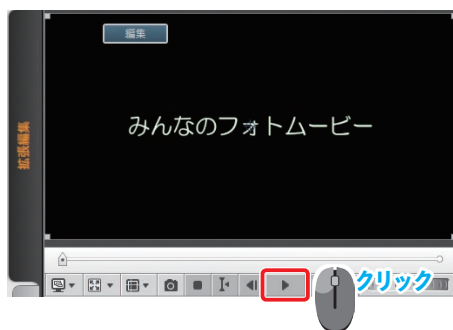
6 「補間メソッドをリニアに設定」 ボタンをクリックする

「リニア」補間では、キーフレーム間の設定値が一定の割合で変化します。
ここで例として使用する設定では、文字色が白色から黄色に徐々に変化します。



7 「プレビュー」で再生確認する

「プレビュー」で再生し、適用した視覚効果を確認します。



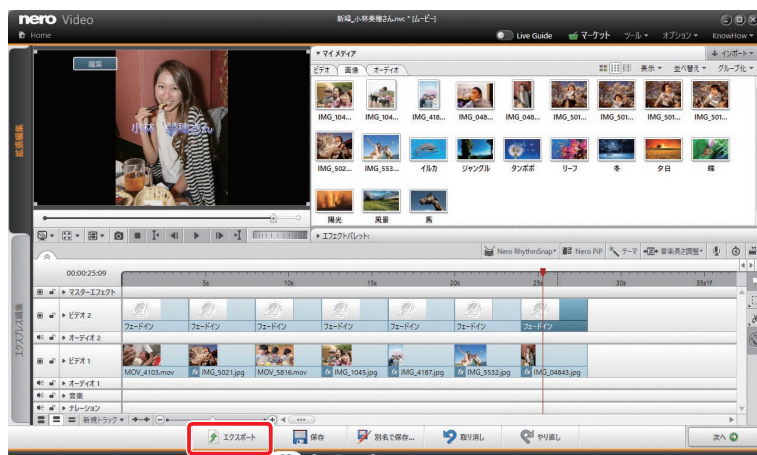
Chapter 3 - 3

ビデオファイルを作成する

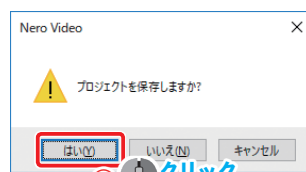
ここまでの操作で基本的な流れは完了しました。仕上げに1つのビデオファイルとして書き出しし、フォトムービーを作成しましょう。ビデオ編集が終わっているプロジェクトを起動した状態からの説明します。

1 「エクスポート」 ボタンをクリックする

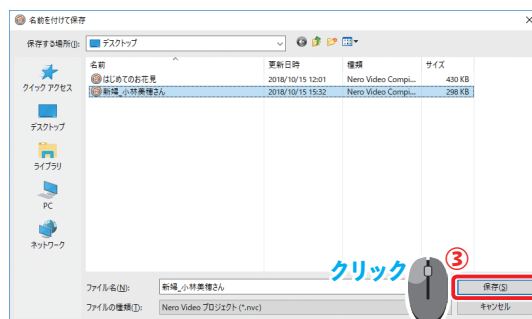
タイムラインの左下にある「エクスポート」ボタンをクリックします。



「プロジェクトを保存しますか?」というダイアログが表示されます。「はい」ボタンをクリックします。

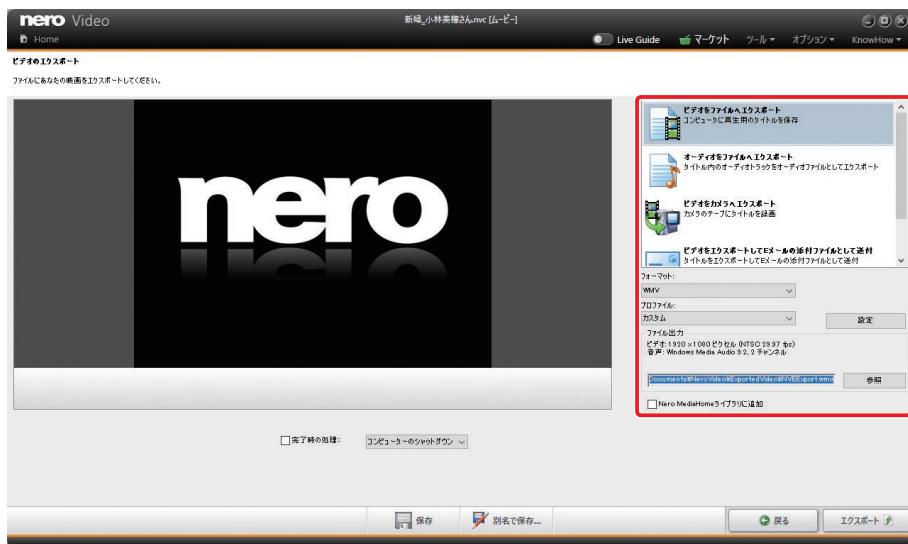


「名前を付けて保存」ウィンドウが表示されます。ファイル名を入力して「保存」ボタンをクリックするとプロジェクトが保存され、「ビデオのエクスポート」画面が表示されます。



2 「エクスポートオプション」をリストの中から選択する

画面右上にある「エクスポートオプション」エリアで「ビデオをファイルへエクスポート」を選択します。



「ビデオをファイルへエクスポート」を含め、以下のエクスポートオプションがあります。

- **ビデオをファイルへエクスポート**
作成したプロジェクトをビデオファイルに出力します。
- **オーディオをファイルへエクスポート**
ビデオの音声部分をオーディオファイルに出力します。
- **ビデオをカメラへエクスポート**
作成したプロジェクトをカメラ内の記録媒体に書き戻します。
- **ビデオをエクスポートしてEメールの添付ファイルとして送付**
ファイルのサイズを調整してプロジェクトをEメールの添付ファイルとして出力します。



Hint

選択したフォーマットにより、「ハードウェアアクセラレーション」チェックボックスが表示されます。チェックを入れると、対応しているパソコンでは処理速度が速くなります。

3 ファイル形式とプロファイルを選択する

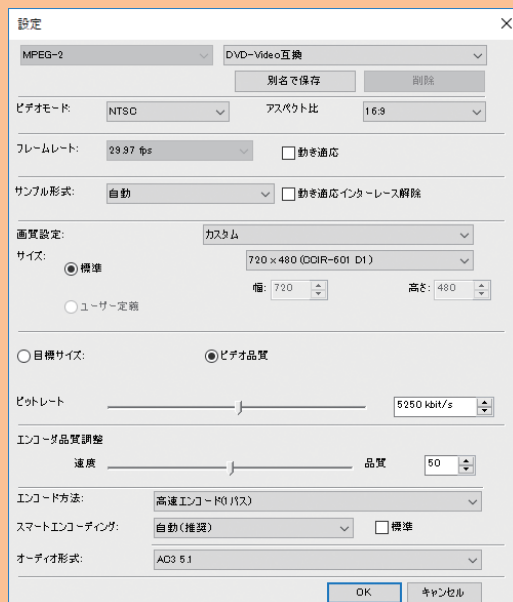
「フォーマット」 ドロップダウンメニューから使用するファイル形式を選択し、「プロファイル」 ドロップダウンメニューから必要なプロファイルを選択します。

ここでは例として、「フォーマット」で「MPEG-2」を選択し、「プロファイル」で「DVD-Video 互換」を選択します。これにより DVD プレイヤーで再生可能なファイルの出力ができます。



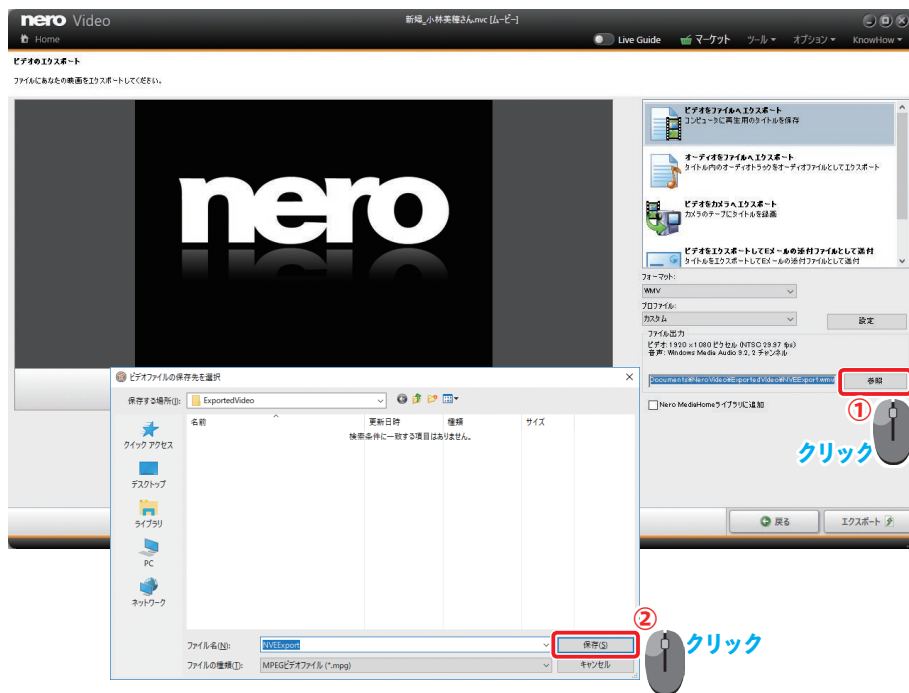
Hint

エクスポートの詳細な設定をするには、「設定」ボタンをクリックしてウィンドウを開きます。



4 保存場所を選択する

「参照」ボタンをクリックし、任意の保存場所を指定します。ファイル名を入力し、「保存」ボタンをクリックします。



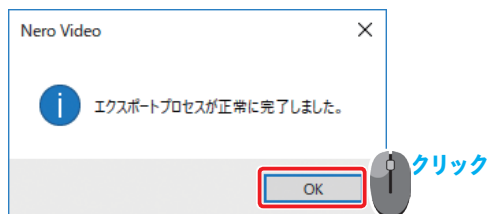
5 エンコードを開始する

「エクスポート」ボタンをクリックすると、ビデオファイルを作成するエンコードという作業が始まり、進行状況が表示されます。完成までの作業時間は、使用しているパソコンのスペックによって異なります。



6 エクスポートが完了する

エクスポートが完了すると、「エクスポートプロセスが正常に完了しました。」と表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、エクスポート前に表示されていた画面に戻ります。これで、ハードディスクにビデオファイルが出力されました。



Chapter 3 - 4

YouTube へのアップロード

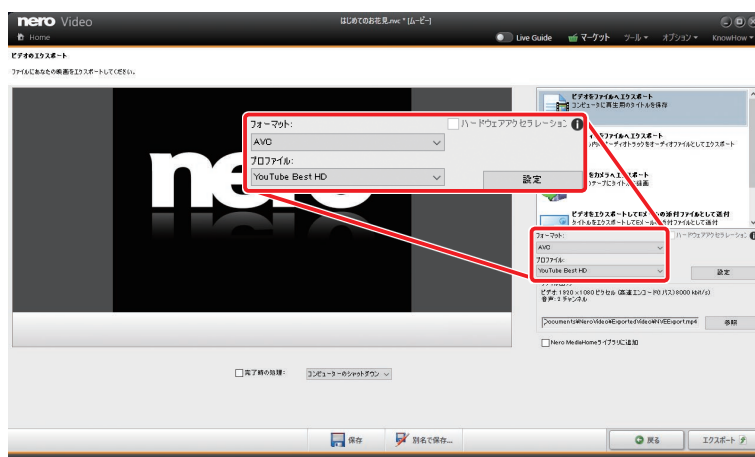
「みんなのフォトムービー」で作成したビデオは、YouTube にアップロードできます。ここでは、推奨するビデオの書き出しの設定と、YouTube へのアップロード方法を説明します。

1 YouTube 用にビデオをエクスポートする

YouTube 向けにビデオをエクスポートします。
設定値は以下のとおりです。

- ・フォーマット
AVC
- ・プロファイル
YouTube Best HD

※詳しい操作は「Chapter3-3
ビデオファイルを作成する」
(→ P53)



2 YouTube にアクセスする

ブラウザで YouTube にアクセスし、ログインします。

「↑ (アップロード)」ボタンをクリックします。

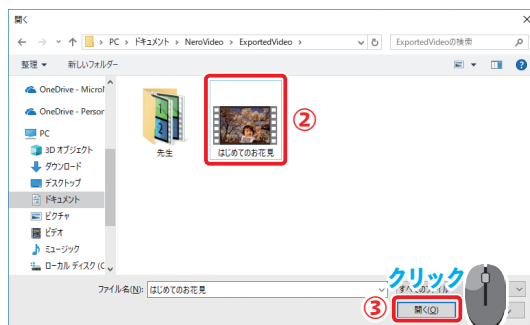


3 アップロードするファイルを選択する

「アップロードするファイルを選択」をクリックします。



「開く」ウィンドウが表示されますので、アップロードするビデオを選択し、「開く」ボタンをクリックします。



4 ビデオのアップロード

ビデオをYoutubeにアップロードします。
アップロードしたら、公開設定をして友人・知人に紹介しましょう。



Chapter 3 - 5

DVD を作成する

「みんなのフォトムービー」では、プロジェクトから書き出したビデオファイルからDVDを作成することができます。テンプレートベースで簡単にメニュー画面も作成できます。ここでは、テンプレートを使用した方法を説明します。

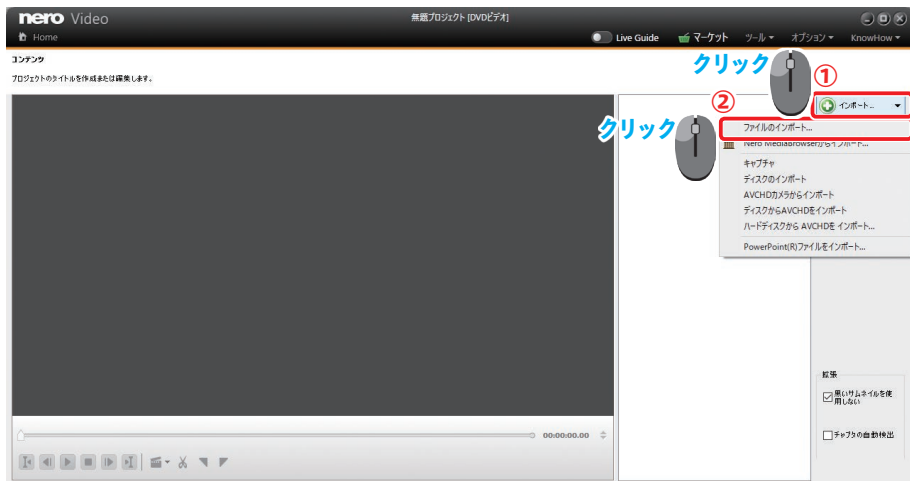
1 「メイン画面」からDVD作成画面を起動する

「メイン画面」の「ディスク作成」エリアにある「DVD」を選択し、リストから「DVD-Video」をクリックします。

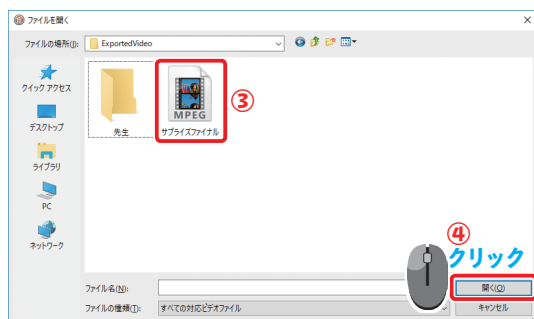


2 「コンテンツ」画面でDVDに書き込みたいビデオファイルを指定する

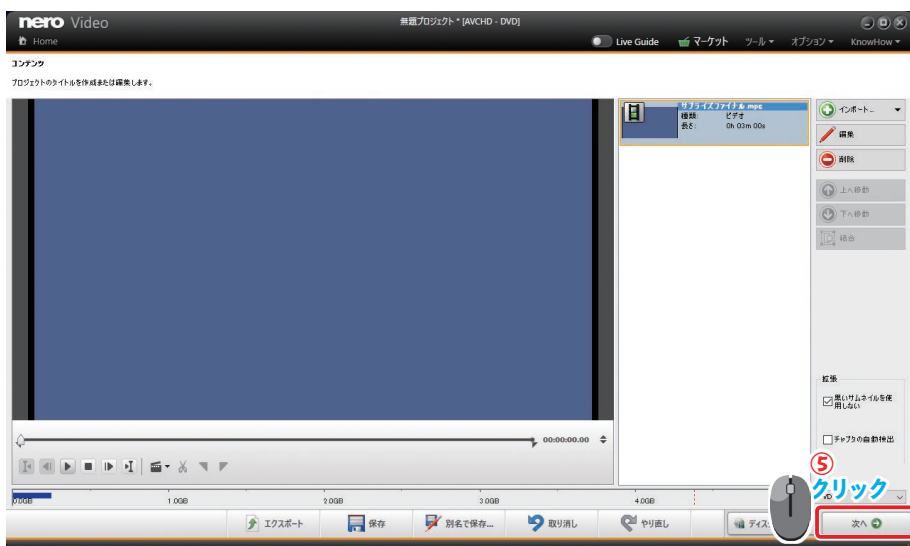
「コンテンツ」画面の「インポート」を選択し、リストから「ファイルのインポート」をクリックします。



「ファイルを開く」ウィンドウが表示されます。任意のビデオファイルを指定し、「開く」ボタンをクリックします。



ビデオファイルが指定されたことを確認し、「次へ」ボタンをクリックします。



3 「メニューを編集」画面でメニューの設定をする

「メニューを編集」画面が表示されますので、必要に応じてメニューを設定します。

「テンプレート」タブの「使用するメニュー」のリストからメニューの構成を選択します。ここでは、例としてビデオが1つなので「タイトルメニューのみ」を選択します。「カテゴリ」からメニューのカテゴリを選択し、サンプルからお好みのレイアウトを指定します。

プレビュー画面を直接クリックすることで、メニュー名やタイトル表記の変更やレイアウトを調整することができます。

基本的な調整が完了したら「次へ」ボタンをクリックします。



Hint

「カスタマイズ」タブの「拡張編集」にチェックを入れると、メニューの各フォームとデザインを選択できます。

- 独自のグラフィック項目やテキストをメニューに配置
- 各種ボタンオプションの作成、変更、削除
- ボタン、メニュー、ビデオのリンクを編集



重要

拡張編集では、メニューとボタンのリンクをプロジェクトのコンテンツにそって動的に作成しません。したがって拡張編集へ変更後に作成したビデオタイトル、メニュー、ボタンはそれぞれ手動でリンクする必要があります。

クリック

4 「プレビュー」画面で内容を確認する

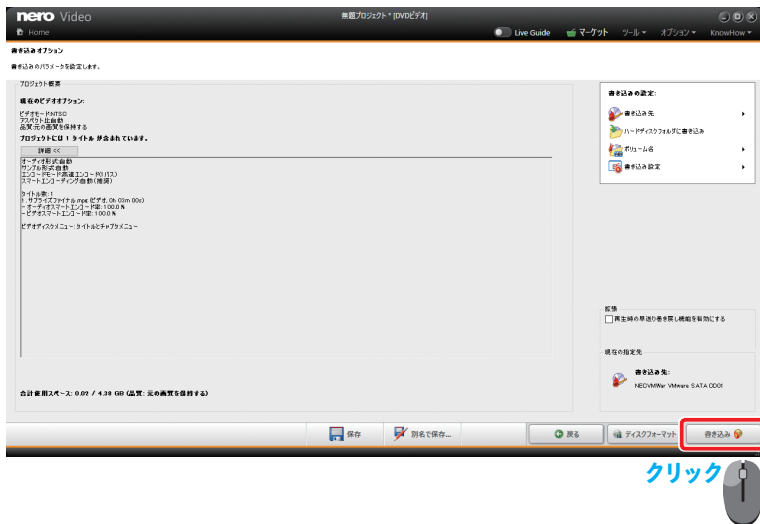
「プレビュー」画面では、実機のDVDプレイヤーで視聴する際にリモコンで操作した場合をシミュレーションできます。問題がないようでしたら、「次へ」ボタンをクリックします。



5 「書き込み」オプションを指定する

ここでは、以下の内容を設定できます。

- **書き込み先**
使用するディスクドライブを指定します。
- **ハードディスクフォルダに書き込み**
DVD-Video形式のフォルダをハードディスクに作成します。
- **ボリューム名**
ディスクの名称を入力します。
- **書き込み設定**
書き込み速度や書き込みテストの有無などを設定します。



基本的な設定が完了したら「書き込み」ボタンをクリックします。



Hint

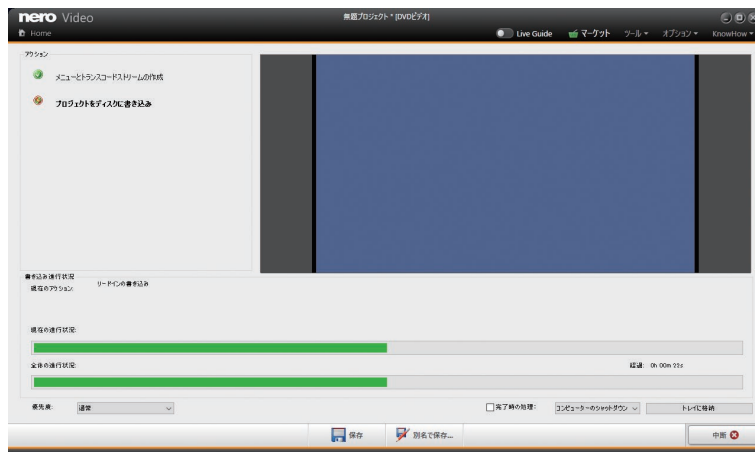
「書き込み」ボタンをクリックすると、「アクティベーションが必要です」ウィンドウが表示される場合があります。このウィンドウは、製品のバージョンによっては、英語表記で表示されます。

表示された場合は、ラジオボタンの一番上を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。以降の画面の指示に「OK」ボタンをクリックし、処理を完了してください。

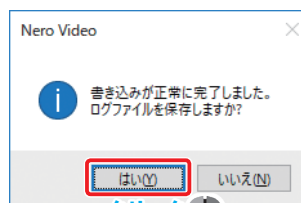


6 ディスクへの書き込みを開始する

ディスクへの書き込みが始まります。



書き込みの完了メッセージが表示されます。ログファイルを保存する場合は、「はい」ボタンをクリックし、ファイルを保存してください。



音楽のリッピング (Nero MediaHome)

音楽 CD に記録されているデジタルデータをパソコンに取り込むことができます。これを、音楽のリッピングと言います。



重要

リッピングしたデータの取り扱いについては、著作権法に定められた私的使用のための複製など、自由に使用できる範囲でのみ使用してください。

1 Nero MediaHome を起動する

デスクトップに作成された「Nero」ショートカットアイコンをダブルクリックします。

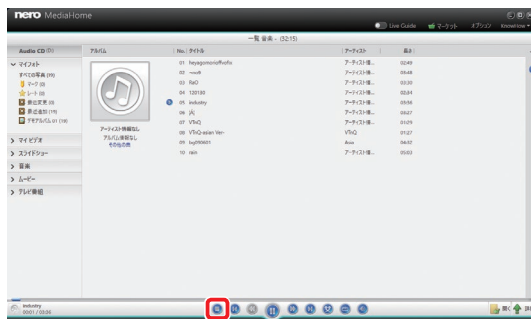


Nero シリーズの起動選択画面が表示されますので、「Nero MediaHome」をクリックします。



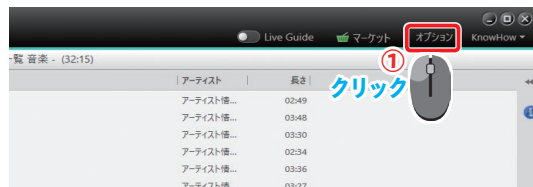
2 パソコンに取り込む音楽 CD を挿入する

パソコンのディスクドライブに、取り込む音楽 CD を挿入します。音楽 CD が再生されますので、「(停止)」ボタンをクリックします。



3 保存場所を確認する

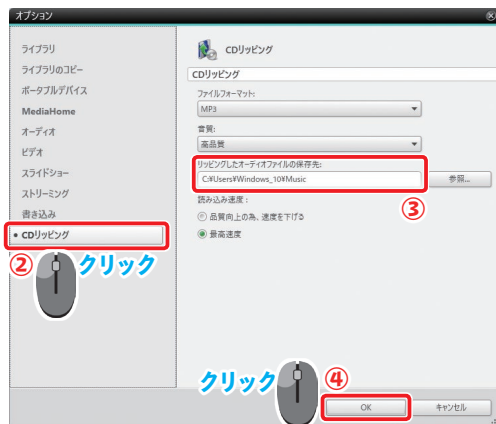
「オプション」ボタンをクリックします。



「オプション」ウィンドウが表示されます。「CD リッピング」ボタンをクリックします。

「リッピングしたオーディオファイルの保存先:」に保存場所が表示されます。

「OK」ボタンをクリックし、ウィンドウを閉じます。

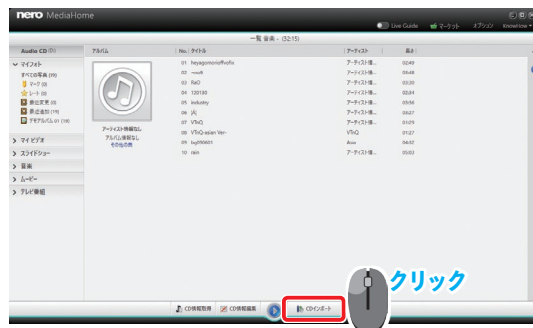


Hint

「参照」ボタンをクリックすると、ファイルの保存場所が変更できます。

4 コンテンツを選択し、データをリッピングする

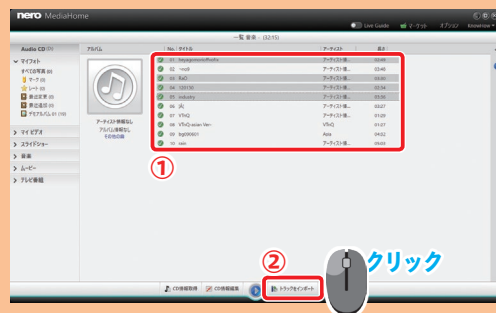
「CD インポート」ボタンをクリックします。指定した保存場所にファイルが取り込まれます。



Hint

音楽 CD から一部のファイルのみリッピングするには、一覧からリッピングするファイルを選択します。「Ctrl」キーを押しながらクリックすると、複数のファイルを選択できます。

「トラックをインポート」ボタンをクリックすると、選択したファイルが取り込まれます。



収録素材一覧

「みんなのフォトムービー」では、購入したエディションにより、追加素材集が同梱されています。ここでは、収録されている素材の一部をご紹介します。

「みんなのフォトムービー」同梱素材

「sozai」フォルダー

・ オブジェクト_A

- ・ アルファベット
- ・ ウエディング
- ・ オブジェクトフレーム
- ・ コラージュ
- ・ トラベル
- ・ ナンバー
- ・ ペット
- ・ ボード
- ・ ワンポイント
- ・ 枠

・ オブジェクト_B

- ・ かわいいスタンプ
- ・ シンプル
- ・ 字幕
- ・ 季節・イベント
 - ・ お祭り
 - ・ クリスマス・正月
 - ・ ハロウィン
 - ・ 入学・卒業
 - ・ 節分・雛祭り
 - ・ 花見
 - ・ 花見・端午の節句
 - ・ 運動会
- ・ 文字・数字
- ・ 星座
- ・ 枠・飾り
- ・ 面白スタンプ
- ・ 顔文字



・ テーマ(フレーム)

- ・ シーズン
- ・ スクラップブック
- ・ セレプレート(お祝い)
- ・ トラベル
- ・ ファッション
- ・ ファミリー
- ・ ファンタジー
- ・ ポートフォリオ
- ・ 基本フレーム
- ・ 字幕
- ・ 絵本

(o^w^o)



「みんなのフォトムービー Wedding」 同梱素材

「wedding_soza」 フォルダー

・ オブジェクト_A

- ・ アルファベット
- ・ ウエディング
- ・ オブジェクトフレーム
- ・ キラキラ&おしゃれ素材
- ・ コラージュ
- ・ トラベル
- ・ ナンバー
- ・ ペット
- ・ ボード
- ・ ワンポイント
- ・ 枠

・ オブジェクト_B

- ・ かわいいスタンプ
- ・ シンプル
- ・ 字幕
- ・ 季節・イベント
 - ・ お祭り
 - ・ クリスマス・正月
 - ・ ハロウィン
 - ・ 入学・卒業
 - ・ 節分・雛祭り
 - ・ 花見
 - ・ 花見・端午の節句
 - ・ 運動会
- ・ 文字・数字
- ・ 星座
- ・ 枠・飾り
- ・ 面白スタンプ
- ・ 顔文字



・ テーマ (フレーム)

- ・ ウエディング_ オープニング
- ・ ウエディング_ クラフト
- ・ ウエディング_ シンプル
- ・ ウエディング_ ナチュラル
- ・ ウエディング_ ハイファッション
- ・ ウエディング_ モダン
- ・ ウエディング_ 和
- ・ ウエディング_ 洋
- ・ シーズン
- ・ スクラップブック
- ・ セレプレート (お祝い)
- ・ トラベル
- ・ ファッション
- ・ ファミリー
- ・ ファンタジー
- ・ ポートフォリオ
- ・ 基本フレーム
- ・ 字幕
- ・ 絵本

・ オマケ



みんなのフォトムービー ガイドブック

2019年2月1日 初版第1刷発行

発行・発売：株式会社ジャングル

Copyright ©2019 Jungle Inc.

乱丁・落丁の場合はお取り換えいたします。

本書の内容を無断で転記、転載することを禁じます。

内容についてのご質問、お問い合わせは、株式会社ジャングルのホームページ上からお問い合わせください。

株式会社ジャングル サポートセンター <https://www.junglejapan.com/support/>